FORUM8™
Virtual reality design studio
UC-win/Road

映像新聞

令和元年（2019年） 8月26日 第2397号

株式会社 映像新聞社
Weekly THE EIZOSHIMBUN
(VISUAL COMMUNICATIONS JOURNAL)
〒112-0006 東京都文京区小日向1丁目24番8号エイゾービル
電話：(03)3942-2161(代)／ファクス：(03)3942-2581
昭和42年1月25日 第3種郵便物認可 郵便振替：00140-0-65786
1部600円、年間購読料26,000円(税別)

◎映像新聞社
毎週月曜日発行(月4回発行)

日本テレビ AI顔認識システム

参院選特番で実験運用

日本テレビ放送網（東京都港区）は、7月21日に放送した参院選挙特番『ZERO 選挙 2019』において、AI顔認識技術を用い、番組制作作業を効率化する実験を実施した。オンエア（OA）素材の被写体である候補者、当確者などが正しく表示されているかをチェックしたり、各地で取材した大量の映像素材の被写体を確認したりする作業をAIに代替したものだ。同技術は、日本テレビが東芝、東芝デジタルソリューションズ、日テレITプロデュースと共同で新規開発している。



AI顔認識システムの入力回線確認画面

OA素材の被写体確認など

AI顔認識技術は、今回の実験では、3つの取り組みを実施した。

1つ目は、生番組用に映像素材の収録・編集・送出をする「CVセンター」において、OA素材に映っている被写体が放送対象者本人であるかを最終チェックする作業だ。選挙特番ではこれまで、この作業はベテランの政治部記者と編集スタッフでダブルチェックしていた。今回、この作業にAIを加えている。

同実験を担当した日本テレビ技術統括局技術戦略統括部の加藤大樹氏は「認識の精度はやってみるまで分からない部分もあったが、CVセンターの担当者からは、運用中一度の間違いも見つけられないほど精度が高く、OAの誤報防止に役立ったとの評価をもらった」と話す。政治部記者、編集マンのチェックと合わせて3重の確認ができ、情報の正確性が高まったとの意見もあったという。

2つ目は、全国各地からCVセンターに30回線以上、伝送されてくる取材映像素材の被写体確認と、メタデータ入力。通常、選挙特番では、報道部門から専属スタッフが配置され、入ってくる素材映像を確認するが、今回この役割をAIが代替している。

加藤氏は、スタッフを削減するとともに、ここでも、ほぼ100%の高精度認識によって誤報が防止できたこと、また、認識がほぼリアルタイムの速度で実行されるため、被写体の確認作業が大幅に効率化できたことを成果として挙げた。

特に認識の速さは利点が大きかったと加藤氏はいう。従来、担当スタッフが候補者の顔と名前が記されている紙の一覧表や候補者の事務所のサイトを検索するなどして確認していた。

数十秒かかっていたこの作業が、AIでは1秒程度で確認でき、被写体確認の待ち時間が減少している。

編集後に確認できてOAに活用できたVTRの本数は、例えば当選が確定した際の「バンザイ映像」については、前回の選挙特番では83本の作成VTR中、OAできたのは約30本で、OA率は36%だったのに対し、今回は54本中34本と、OA率はほぼ2倍の62%に増えている。

〈3面に続く〉

選挙特番当日のCVセンター素材収録エリア

高精度の認識で誤報防止

VTRのOA率大幅に向上

8K特集 11-13面
スーパーハイビジョン

本号の主な記事

［プロダクション］
共同テレビジョン/4K中継車をIPシステムで構築 ……2
［技術開発］
「HotChips31」開催/半導体は積層型で発展へ ……6
［プロ機器］
キヤノンが8Kショートムービー公開/自社8Kカメラで制作 ……7
［ディスプレー］
NGCがサムスンの高精細LEDディスプレーの国内販売開始……9

映像新聞ウェブサイト
http://www.eizoshimbun.com
購読のお申し込みはこちらから

緊急報道・災害・海外・派遣・インフラ構築
「ビジネスバッグにも収納可能な驚愕のアンテナ！」
SATCUBE

<サットキューブ社 SATCUBEアンテナ>
■ 災害・報道・海外派遣での映像音声・ネット伝送
■ 驚愕の超小型平面アンテナ（47cm X 30cm X 5.5cm）
■ ノートPCサイズ・超軽量約8kg（機内持ち込み可）
■ わずか1分で通信準備可能（誰でも簡単に衛星補足・組立不要
■ 15Mbsp広帯域映像伝送可能（高いポテンシャル）
■ 航空機持ち込可能なバッテリで運用可能。
■ 運用中のバッテリー交換可能（ホットスワップ対応）
■ カメラバッテリを運用できる特注電源オプションあります。
■ モバイル中継装置（Live U・TVU等）と連携可
エーティコミュニケーションズ株式会社
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-55-14
TEL:03-5772-9125 http://www.bizsat.jp

イベント・映像機器レンタル業務に
特化したレンタルシステムは、
キッセイコムテックの
KAREN—CORE
詳細は以下をインターネット検索
「KAREN-CORE」
http://karen-core.com
KAREN-CORE

NAB SHOW NEW YORK
October 16–17, 2019
https://www.nabshowny.com/
最新トレンドがわかる映像機器見本市

NAB Show New York 2019
視察ツアー参加者募集！
ツアー参加のメリット
●ニュース、メディア配信、今後発展するインターネット放送などリアルタイム性とセキュリティー関連の最新商品の展示やセミナーが見られる！
●本家NAB SHOW Las Vegasでは展示されない製品が多数！
●通訳同行の展示会場内ブース見学ツアー、放送業界関連企業の視察付き！
展示：2019年10月16日（水）、17日（木）
ツアー日程：2019年10月15日（火）出発－10月20日（日）帰国
空港到着時より通訳サポート、展示会場内通訳同行ブース見学、放送業界関連企業の通訳同行訪問視察付き
詳細は本紙18面をご参照ください
詳細・問い合わせ・申込み https://www.lapita.jp/2019/07/post-2824/NAB-SHOW-NY2019.html

共同テレビジョンが内覧会

４Ｋ中継車をIPシステムで構築

音声中継車はイマーシブオーディオ対応

共同テレビジョン（本社＝東京都中央区）は7―8日の2日間、制作技術部のオフィスがある江東区青海のダイバーシティ東京プラザ中継車庫で、同社初の４Ｋ ＨＤＲ中継車「ＫＲ―ｓｕｐｒｅｍｅ」および、多目的音声中継車「ＫＲ―ｍｉｘ」の内覧会を開催した。

同社はこれまで、大型中継車「ＫＲ―ａｄｖａｎｃｅ」および「ＫＲ―１」、多目的機材車「ＫＲ―ｍｅｇ」を運用しており、新しい中継車はこれに続くもの。今後重要度を増していく中継業務の充実を図るため、臨場感ある映像づくりを可能にする機材と余裕のある制作空間を装備するのと同時に、ワークフローのさらなる効率化を目指した。

ＫＲ―ｓｕｐｒｅｍｅはシステムにＶｉｄｅｏ ｏｖｅｒ IPを採用した。制作技術部の川崎淳専任部長は、「12G―SDIや3G―SDIクワッドも選択肢にあったが、IPは技術の発展やそれに伴う規格の進化が見込まれており、拡張性が高い。８Ｋを始めとした今後のさまざまな要件に、柔軟に対応できることからIPを選択した」と話す。

システムは、ソニーのIP Ｌｉｖｅプロダクションシステムとした。信号伝送方式は現在、ＡＲＩＢ ＳＴＤ―Ｂ73「ＮＭＩ（ネットワーク・メディア・インターフェース）」だが、今後ＳＭＰＴＥ ＳＴ２１１０の機器が整備され次第、変更する予定。２Ｋを含め、既存のベースバンド信号と併用して柔軟に運用することもできる。


KR-supreme右とKR-mix


10人が制作できるスペース


ミキサー卓

ビデオルーターは、ＣＯＴＳ（商用オフ・ザ・シェルフ）のIPスイッチを用いたIPルーターと、朋栄「ＭＦＲ―８０００」（256×256）。コンバーターはソニー「ＨＤＲＣ―４０００」（４Ｋ ＨＤＲ）と朋栄「ＦＡ―９６００」（４Ｋ ＦＳ）。

車両は全長11・99㍍、全幅2・495㍍、高さ3・64㍍。拡幅時は幅4・495㍍となり、10畳ほどの広さの制作ルームで、10人が余裕をもって制作にあたることができる。車両総重量は約23・5㌧で富永物産の発動発電機を積んでいる。シャーシは日野自動車製で京成自動車工業が架装を担当した。システムはソニービジネスソリューション。

カメラはソニー「ＨＤＣ―５５００」をはじめ、最大20台を搭載可能。レンズはキヤノン「ＵＪ１２２×８・２Ｂ」、フジノン「ＵＡ２４×７・８ＢＥ」など。

スイッチャーはソニー「ＸＶＳ―９０００」（入力＝IP40、SDI80、５Ｍ／Ｅ）とした。モニター棚はソニーの55型４Ｋ有機ＥＬ6面で構成する。映像はマルチビューワーの4K出力を入力するため、ジリジリした感じのないクリアな表示ができる」ことをコンセプトとした。シャーシは日野製で、サイズは全長11・99㍍、全幅2・495㍍、全高3・64㍍。架装は京成自動車工業。

音声卓はＬａｗｏ「ＭＣ２―５６ Ｍｋ３」（48フェーダー）を搭載した。ＳＴ ２１１０などのIPプロトコルをネイティブでフルサポートし、フェーダーのラベル表示ディスプレーに、映像ストリームのサムネイルプレビューを映す「Ｌｉｖｅ Ｖｉｅｗ」機能などを搭載する。国内初運用だという。制作技術部の高橋敬専任副部長は、「既存の車両も同社の製品を利用している。カスタマイズしやすく使いやすいことから選んだ」と話す。

同車は、ドルビーアトモスなどの5・1・4ｃｈ、7・1・4ｃｈのイマーシブオーディオミキシングに対応する。スピーカーはメインがアダム「Ｓ３Ｈ」、サラウンドが同「Ｓ１Ｘ」など。レコーダーはアビッド「プロツールスＨＤＸ」。

以前ドルビーアトモスでの制作を請け負った実績があることから、さまざまな状況に積極的に対応することを目指して取り入れた。映画館でのパブリックビューイングなどでの利用が考えられるという。

また機材車としての利便性を高めるよう設計を工夫した。

音声卓はモニター棚の下に潜り込ませて収納することができ、これによって運搬時にその他の機材を積み込むスペースを広く取ることができる。仕切り壁も移動でき柔軟な利用を実現している。

高橋氏は「機材を下ろしたところにその都度ミキサーを組むとシステムがシンプルになりがちだが、常設すれば大型の機材を搭載することができる。同時に安定運用も可能になる」と説明する。

ステージボックスはＬａｗｏ「Ａ ｓｔａｇｅ６４」「Ａ ｍｉｃ８」とした。信号は主にＡＥＳ６７（ＲＡＶＥＮＮＡ）を使う。インカムは音質が良く柔軟に利用できるリーデル製とした。

55ＫＶＡの発電機（富永物産）を搭載するため電源のない場所でも稼働可能。電源車として使用することもできる。

柔軟なシステムアップが可能

◆音声中継車も同時に完成

音声中継車ＫＲ―ｍｉｘは、スポーツやコンサート中継をはじめ、「どのようなニーズにも対応できる」ことをコンセプトとした。シャーシは日野製で、サイズは全長11・99㍍、全幅2・495㍍、全高3・64㍍。架装は京成自動車工業。

音声卓はＬａｗｏ「Ｍ

12G-SDI 対応
モバイル中継装置
LU600 4K-SDI
●4K-SDI 対応
（12G-SDI/3G-SDI x4）
●最大 11 回線ボンディング
（内 LTE x8 回線）
●高速起動（約 30sec）
●タッチパネル操作
LU300HEVC
●小型軽量設計
●最大 6 回線ボンディング
（内 LTE x4 回線）
●高速起動（約 30sec）
●JOG コントローラ操作
三信データセンター稼働中
映像素材のアーカイブから配信サーバまで、
安心安全な次世代の映像ビジネスへ！
詳細は下記までお問い合わせください。
TEL：03-5484-7270　Mail：eizo-info@sanshin.co.jp
三信電気株式会社 ソリューション営業本部 映像システム営業部
http://www.sanshin.co.jp/business/solution/vd

SONY
Sony PCL Inc.
www.sonypcl.jp
＊SONYおよびその他の名称は、ソニー株式会社の商標です。

〈1面から続く〉

この結果は加藤氏も「想像以上だった」という。「当選確実」のような映像は、少しの遅れで使えなくなってしまう。認識の速さが、そうした素材をタイムリーに活用することにつながった。

3つ目の取り組みは、地上波の『ZERO選挙』と並行して、報道サブ（N2サブ）で実施されていた、CS放送の日テレNEWS24の選挙特番の入力素材の確認だ。同特番では日テレNEWS24のスタッフが、紙の資料を目視で入力素材の確認・選択していたが、その作業をAI顔認識システムに代替している。

この現場では、紙資料でのチェックの必要がなくなり、作業負担が軽減されるとともに、確認作業の速度が高まり、ディレクティングなど他の業務により注力できるようになったことへの評価があった。

日テレ 参院選特番でAI顔認識システム

9回線の映像を同時に確認

物体トラッキング機能も追加



加藤氏

AI顔認識システムは、今回、モニター上で9回線の映像を同時に確認できるようにしている。選挙特番は素材が多いことから、9画面のマルチビューを横に向けたり、人が重なったりしても認識し続けられるよう「物体トラッキング」機能を追加。大勢が集まるシーンでもAIエンジンのリアルタイム処理が滞らないよう、同時処理できる人数は最大20人ほどに設定した。さらに、認識した人の履歴が残るようにし、一瞬だけ映った人が誰であったのかも確認可能にしている。

また今回、被写体が顔性能の境界となる値）を任意に設定できるよう改修した点もポイントだ。

AIの閾値（しきい値＝AIでは閾値が90%以上であれば認識の間違いはほぼないとされている。今回は報道用途で、間違いは絶対にできないとの判断から、閾値を90%に設定した。

AI顔認識システムを東芝のAIエンジンを選択。アプリケーションを利用した現場スタッフからは、AIの信頼性が高く、収録素材確認のための専属スタッフを削減できたこと、あまり有名ではない政治家も一瞬で分かることなどの評価もあった一方、AIに頼り過ぎると人の顔を覚えなくなってしまう危険があるとの意見もあった。

同システムの開発においては、AIベンダー数十社にテストデータを渡して性能を比較した結果、学習には、今回の参院選の立候補者全員の画像とともに、応援に来たり会見したりと、他の政治家も多く登場することから、過去数回分の総選挙の画像を利用。2000人ほどを認識できるようにした。このデータは、選挙特番のCG表示用としてそろっていたものを流用している。

加藤氏は「AIの学習では特定の画像を認識するにあたり、数千枚、数万枚が必要というケースがあるが、顔認識については、十分に〝訓練〟されたモデルがあったので、1人あたり1枚の顔画像を登録するだけで済んだ。この点も実運用に向けては大きな利点となった」と話す。

局内からは、スポーツなど他番組に応用したい、スマートフォンで使えるようにして取材現場で利用できるようにして欲しいといった要望があり、検討していく方針だ。加藤氏は、アーカイブ素材のメタデータ付与や、地上波番組を配信する際の著作権処理にも有効とみており、今後、可能性を検証したいとした。

さらに同氏は「被写体チェックなど、AIで自動化できる部分は機械化していけば、人は、番組の構成、編集の画つなぎ、現場やネット局とのやりとりなど、人にしかできない業務により集中できると思う。働き方改革にもつながるので、今後もAIと人間の分業、協業を推進していきたい」と述べている。

日テレITプロデュースに委託し、東芝デジタルソリューションズとも連携して、4社態勢でプロトタイプを開発した。自社の技術展示会「日テク」で披露するとともに報道部門をはじめとする社内への技術説明会を実施。

参院選特番での実験を目指すことになった。

参院選特番に向けては、まずバージョン1を開発。これを現場に持ち込み、意見を基に細かいバージョンアップを繰り返して、実運用に耐えられるシステムにしていったという。

AI顔認識システムの学習には、今回の参院選特番のCG表示用としてそろっていたものを流用している。

加藤氏は「AIの学習では特定の画像を認識するにあたり、数千枚、数万枚が必要というケースがあるが、顔認識については、十分に〝訓練〟されたモデルがあったので、1人あたり1枚の顔画像を登録するだけで済んだ。この点も実運用に向けては大きな利点となった」と話す。

局内からは、スポーツなど他番組に応用したい、スマートフォンで使えるようにして取材現場で利用できるようにして欲しいといった要望があり、検討していく方針だ。加藤氏は、アーカイブ素材のメタデータ付与や、地上波番組を配信する際の著作権処理にも有効とみており、今後、可能性を検証したいとした。

さらに同氏は「被写体チェックなど、AIで自動化できる部分は機械化していけば、人は、番組の構成、編集の画つなぎ、現場やネット局とのやりとりなど、人にしかできない業務により集中できると思う。働き方改革にもつながるので、今後もAIと人間の分業、協業を推進していきたい」と述べている。

タクシールーフトップAD実演

新広告媒体事業を展開へ

ジャパンデジタルサイネージ

ジャパンデジタルサイネージ（東京都千代田区）は、7月18、19日に東京・青海の東京都立産業技術研修センターで開催した「第29回 国際地理学東京大会（ICC2019）」において、同社がデジタルサイネージ（サイネージ）の新規事業として推進するタクシー上部の行灯部分を使った広告媒体事業「タクシールーフトップAD」をデモ展示し、ビジネスモデルについて説明した。





「タクシールーフトップAD」（写真㊤）。韓国で「MOTOV」として運用されている実車両（写真㊦）も公開した

「タクシールーフトップAD」は、既に韓国で「MOTOV」として運用されている屋外タクシーサイネージの日本版で、「MOTOV」と共同で開発したシステムとなる。

関係者によれば「韓国のインチョンなど複数都市で事業展開している。ソウルについても今年の秋以降に展開していく予定だ」という。

タクシーの行灯部分に搭載される液晶ディスプレーは、29型の屋外仕様で韓国・LG製が基本となる。位置情報に連動した緊急情報提供や広告の掲出などが可能だ。

例えば、地震、津波、ゲリラ豪雨などの大規模自然災害やテロ・凶悪犯罪の発生といった緊急情報を、タクシー車両の停車・走行中のエリアに合わせてリアルタイムでロケーション表示できる。さらに事故現場の映像伝送や救急車両支援などの情報も表示可能となっている。

川﨑東太郎社長は「日本では道路交通法との関連もあるが、まずは緊急情報発信モデルとして特区申請し、今年中に関東地区で運用を開始したい。有効性が確認できれば全国展開も視野に入る。タクシーの車内では、日本でも既にサイネージ広告事業が進みつつある。その車内サイネージとの広告連携も計画している」と話している。

15.6" WIDE　Model No.: 標準モデル LCD1560 / タッチパネルモデル LCD1560MT / SDI搭載モデル LCD1560S

フル HD(1920x1080) 15.6 型 IPS 液晶パネル搭載
業務用マルチメディアディスプレイ

- 15.6型フルHD (1920x1080) IPSパネル採用
- **HDMI出力端子搭載**
- HDMI/VGA/ ビデオ/音声入力端子搭載
- 3G-SDI入出力端子搭載 ※LCD1560Sのみ
- 静電容量方式タッチパネルを採用/ 10点マルチタッチに対応 ※LCD1560MTのみ
- 1/4インチネジ/VESA 75 x 75mm及び100 x 100mm対応
- 低重心無段階調節可能な自立スタンド採用
- 市販のVマウントバッテリープレートに対応
- U型自立スタンドと屋外用サンシェードに対応（オプション）
- EIA規格19インチラックマウントに対応（オプション）
- 専用反射防止液晶保護フィルム（オプション）
- 安心の3年保証

9月下旬 発売予定



HUS-0102E

スケーリング機能搭載 業務用薄型 HDMI 2.0a 2 分配器

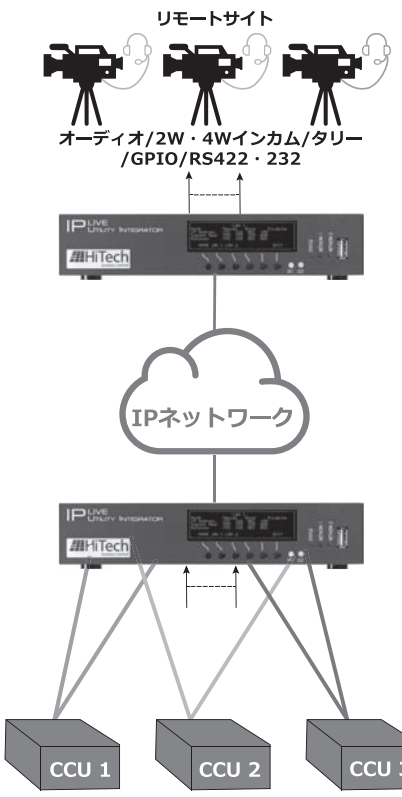
- 4K@60 4:4:4 (18Gbps)対応
- HDMI信号を2分配
- HDCP 2.2 / 1.4対応
- 映像ダウンスケーリングとHDCPリビジョン変換機能
- HDR（ハイダイナミックレンジ）信号対応
- x.v.Color (xvYCC) & Deep Color対応
- EDIDオート＆エミュレーション機能搭載
- ネジ式電源DCコネクタ採用
- 壁面や床への設置に便利な固定用金具が付属

9月上旬 発売予定



エーディテクノ ADTECHNO
www.ad-techno.com / info@ad-techno.com
株式会社エーディテクノ
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 3-29 FORECAST 市ヶ谷 3F
TEL：03-5206-3330 / FAX：03-5206-3339
［大阪営業所］
〒530-0001 大阪市北区梅田 1-11-4 大阪駅前第 4 ビル 20 階
TEL：06-6131-8389

IP LIVE UTILITY INTEGRATOR　HiTech Systems Limited
リモートプロダクションを実現する最も簡単なソリューション
※当社比





中継先にカメラを置いて、制作は遠隔地の放送局とIPで接続することができ、4K映像は最適なコーデックを使用して IP 伝送を行い、カメラへのタリー、インターカムや RS422 データ等を IP LIVE UTILITY INTEGRATOR で伝送できます。もはや、中継先に多くの機材を輸送するコストやスタッフの人件費を抑えることができる真のリモートプロダクションを実現することができます。

松田通商株式会社
▶http://mtc-japan.com
本　　社　〒107-0062　東京都港区南青山3-3-15　MTCビル　Tel: 03(5413)4611　Fax: 03(5413)4618
大阪営業所　Tel:06（6101）2822　Fax: 06(6101) 2823　Mail: inquiry@mtc-japan.com

異変テレビ広告費 下

キー5局の各課題

視聴率上昇も広告費減

民放キー5局の19年度第1四半期（1Q）決算は、単体の増収増益1社、減収増益1社、減収減益3社と割れた。実態は各社とも厳しさがうかがえる。例えば、前年同期比で増収増益のフジテレビも、3年間での広告収入の落ち込みはカバーしきれていない。また、世帯視聴率で好調なテレビ朝日も、広告収入は苦戦している。最も好調に見えた日本テレビでさえ、広告収入は減少傾向が始まっている。（次世代メディア研究所 鈴木祐司）

★増収増益のフジ

フジテレビは、キー5局の中で今年度1Qが唯一増収増益となった。営業利益は9割増えたが、売上高は0・8%増である。放送事業原価を3・4%圧縮したことによる利益増が効いたようだ。

同局のG帯視聴率は05年度に14・3%あったが、その後は下落傾向となり、広告収入を1100億円減らした。4割近く収入を失っている。

しかし17―18年度は視聴率が底を打ち、広告収入の反転攻勢が期待された。

今年度1Qも世帯視聴率は微増となったが、広告収入は前年同期比で5・6%減であった。スポットは微増だったが、タイムが6・4%減となったのが痛かった。

フジは番組制作費を6億円以上カットするなど、放送事業原価を12億円以上削減。販売費や一般管理も大きく圧縮させた。そうした努力により、営業利益は25億円ほど伸びた。ただし収入面はまだまだで、フジ本来の力は発揮できていない。

★視聴率は好調

今年度1Qでフジとともに広告収入を落としたのがテレ朝だ。同局は10年度以降、16年度までの6年間、広告収入を伸ばし続けた。その総額は約287億円。首位を行く日テレに次ぐ好調ぶりだった。

若年層の個人視聴率向上が鍵
大胆な挑戦をする時期に

それが17年度28億円、18年度48億円と、広告費は落ち始めた。17年度は視聴率が前年比で落ちたため、また納得できるが、問題は18年度だ。三冠を構成する3時間帯とも視聴率を大きく伸ばし、首位日テレとの差を縮めた。それでも広告収入は大幅減となっている。

今年度1Qも18年度1年と現象は似ており、GP帯で日テレは0・5%ほど視聴率を落とし、逆にテレ朝は0・5%ほど上げた。

★個人視聴率を重視

テレ朝に肉薄されている日テレは、14年度から18年度まで5年連続で視聴率三冠と、民放首位を堅持してきた。

また広告収入も、10年度から16年度まで7期連続で増収を果たしている。この間14年度にはフジを上回り、視聴率と広告収入と名実ともに業界トップに立った。

ただし17年度の広告収入は8年ぶりに微減となっている。しかし18年度は再び増収に転じ、この年に大幅減収となった2位テレ朝に、680億円以上もの差をつけ、独走態勢を盤石なものにしていた。

しかも同局は、スポット広告の取引指標が変更されたのに伴い、世帯視聴率から個人視聴率重視の姿勢に舵を切る。

さらに一週間分の録画再生視聴率も加味されるようになり、口コミで視聴者が増える若年層を意識した番組作りを始めていた。

昨年秋の『今日から俺は!!』、今年冬『3年A組』、今春『俺のスカート、どこ行った?』と、学園ドラマを3クール続けている。また今春から2クール連続の『あなたの番です』は、交換殺人という新手のミステリーを繰り出し若年層に的を絞った。

スイッチ・メディア・ラボのデータによれば、日テレがコア層とするT層（13―19歳）・1層（20―34歳）・2層（35―49歳）の個人視聴率は、18年度4月以降で着実に伸びている。

世帯ではなく個人視聴率を基準にすることは、局内でもポスターを掲示して、職員の意識改革に務めている。

それでも広告収入は、18年度4Qと今期1Qの2四半期連続で大幅マイナスとなった。

★広告費増は可能か

こうした判断から、単に世帯視聴率が高いより、若年層の含有率が高い方が広告効果は高いと考えるスポンサーも出てきている。

いまテレビ局には、そのニーズにどう答えるかが問われている。ただし世帯視聴率が下がり、広告収入減に見舞われた日テレの例もある。

要は世帯視聴率を落とさず、若年層の個人視聴率を上げる工夫が鍵だ。テレビ局には、従来の常識にとらわれない大胆な挑戦をする時期が訪れている。

TBSとテレ東の広告収入は、この3年ほぼ横ばいで推移している。今年度1Qも、フジやテレ朝ほど実績を落としていない。ただし世帯視聴率も個人視聴率も大きく上がってはおらず、それが広告収入にも反映された形だ。

実は、世帯視聴率を伸ばしたテレ朝も、下げ止まりを果たしたフジも、若年層の個人視聴率は伸びていない。

テレ朝では平日午後9時台の帯ニュースと、週3本あるGP帯の連続ドラマがシリーズもので、中高年狙いとなっている点が大きい。

フジも、バラエティーが伸び悩んでいる点や、さらに月9が恋愛ものから刑事・医学・裁判ものなどにシフトし、視聴者の年齢層が上がっている。こうした点から両局とも、世帯視聴率の見た目ほどは若年層の個人視聴率は伸びていない。

スポンサーは広告効果を厳しく求めるようになっている（本シリーズ㊤参照）。若年層ほどテレビを見ながらスマホを操作する。彼らこそ、テレビCMからネットへ移り、ウェブサイト訪問・来店・商品購入など、コンバージョンが高まる可能性がある。

Dejero



速度と安定性を備えた
セキュアな通信環境を構築
モバイルインターネット接続ソリューション **Dejero GateWay Router**

SFP+および
SR Live for HDRに対応
SR Live for HDR



4K/12G-SDI/HDR/ 広色域対応 2 系統プロセッサー **FA-9600**　SR Live for HDR はソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ株式会社の提唱する HDR 映像制作ワークフローです。



タッチパネルで直感的に
リプレイ映像を作成
インスタントリプレイシステム **Envivo Replay**

LTO - 8で
大容量アーカイブ
LTO サーバー **LTS-80**



2019年8月28日 @ ロイトン札幌
LOGIC JAM 放送機材展2019

FOR-A World of Possibilities FOR-A®

USJの新アトラクション
J:COMが施設協賛
加入者を対象に特別パス提供



協賛記念セレモニーを

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ／運営＝ユー・エス・ジェイ）、大阪市此花区）のオフィシャル・マーケティング・パートナーであるジュピターテレコム（J:COM）とジェイコムウエストは、8月21日から、イルミネーション社の作品『シング』が体験できるアトラクション「シング・オン・ツアー」を開催中の「イルミネーション・シアター」に協賛することを発表、協賛記念セレモニーを開いた。

J:COMは2015年7月より、パーク内「ユニバーサル・モンスター・ライブ・ロックンロール・ショー」に協賛していたが、USJとさらなる連携強化を図り、より多くの来場者に楽しさと感動を届けることを目指し、今回「イルミネーション・シアター」に協賛する運びとなった。

協賛を通じて、J:COM TV／J:COM NETサービスの加入者を対象に、「J:COMプレミアム・パス」を提供する。同パスは、事前予約することで、イルミネーション・シアターで開催中の「シング・オン・ツアー」への待ち時間を短縮して体験できるサービス。

知的発達障がいの子供たち その成長の姿と家族に焦点
ジェイコム湘南・神奈川 特番を放送

ジェイコム湘南・神奈川（神奈川県横須賀市）は、8月17日に特別番組『みらいへの扉～知的障がいの子供たちの成長と支える人々～』を、神奈川県内と東京都町田市、稲城市におけるサービスエリア内のコミュニティチャンネル「J:COMチャンネル」で放送した。

9月7日（午後6時）には、全国エリアの「J:COMテレビ」でも放送する（いずれも再放送あり）。

番組は、6月30日に開催された、知的発達障がいをもつ子供たちが出場するビューティーコンテスト『スペシャルビューティージャパン』の模様を中心に、参加した子供たちの成長、子供を支える人々の絆（きずな）や情熱をクローズアップした。

同イベントのアンバサダーを務めたのは、横浜DeNAベイスターズの育成・アレックス・ラミレス監督の長男。番組内ではラミレス夫婦に、ダウン症をもつ長男とラミレス一家についてもインタビュー。障がいをもつ子供を育てる上での母親の悩み、それを支える夫・ラミレス監督の心境などを聞いている。

スペシャルビューティージャパン2019

なお、同番組は10月12日（午後7時）に、神奈川県ケーブルテレビ協議会に加盟するCATV5社（厚木伊勢原ケーブルネットワーク、イッツ・コミュニケーションズ、湘南ケーブルネットワーク、YOUチャンネルプレミアム、横浜ケーブルビジョン）でも放送する予定。

利用者の口コミにより TVドラマを独自評価
猿「TVログ」提供

ユーザーの口コミで作るTVドラマを独自の評価軸により、9日、8月にTVログの世間で話題になっている新規会員数が1500人を突破したことを発表した。7月1日にサービスを開始して以降、会員数、口コミ数ともに増加し、順調に拡大しているという。

新規ドラマがひと目で分かるサイト「TVログ」（tv-log.co）を提供する猿（東京都港区）は、

TVログでは、「急上昇ドラマ」「国内ドラマ」「海外ドラマ」「CS・BS動画配信サービスオリジナルドラマ」のカテゴリー別に、5つ星評価のランキングがチェックできる。ランキングは毎日更新されるので、今、盛り上がっているドラマが分かる仕組み。ドラマは、約1700番組（順次拡充予定）が検索できる。出演者、脚本家、放送年からも探せる。

今後は、iOSおよびAndroidアプリ対応、レビューランキング機能、ポイント機能、レビューコメント機能、ライブラリー機能の実装を予定している。

NTTテクノクロスが新ソリューション
HEVCで膨大な画像データをモバイル回線でも高速転送

NTTテクノクロス（東京都港区）は、最先端の映像圧縮方式であるHEVCを用いて、膨大な画像データをモバイル回線などでも高速かつ効率的に転送できるソリューション「スマートファイルアップローダー（SmartFileUploader）」の提供を19日から開始した。

近年、技術者不足や業務効率化を背景に、各種設備・インフラ保守作業などのさまざまな分野で衛星画像、航空画像、ドローン撮影画像といった遠隔から撮影した画像を活用するケースが増加している。しかし、これらの高解像かつ大量の画像データを遠隔の撮影地から送るには、伝送時間がかかることや、記憶媒体の紛失などによる情報漏洩のリスクがあり安全面で問題があった。

8Kを超える解像度に対応

NTTテクノクロスは、NTT研究所が開発した画像圧縮ライブラリーに8Kを超える超高精細画像への対応や、可逆圧縮機能など保守作業に必要とされる機能を追加し、大量の画像を圧縮して安全に効率的に転送するソリューションを開発した。

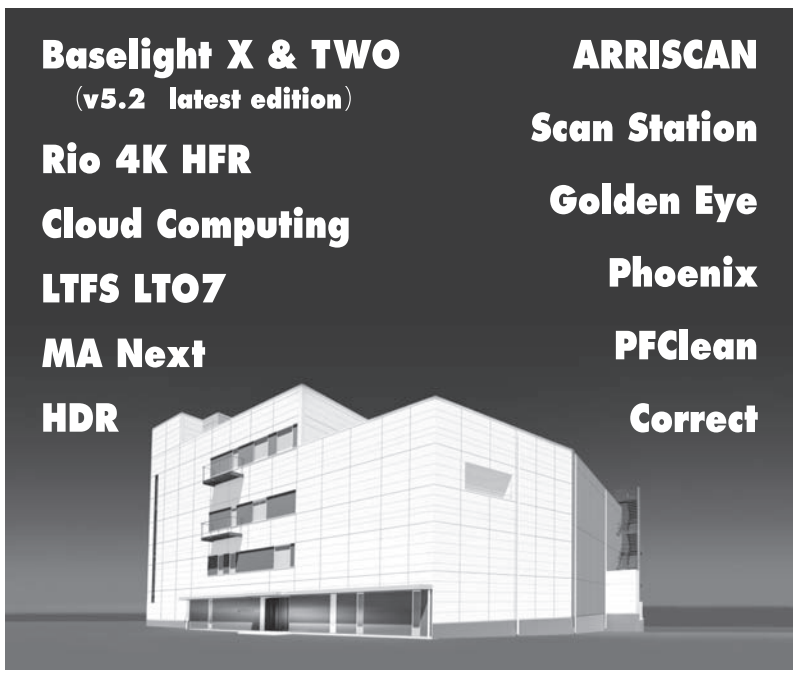
映像向け圧縮技術のHEVCを静止画向けとして採用するだけでなく、静止画に特化したチューニングをすることで、JPEG方式で圧縮された画像データもしくはTIFF（非圧縮データ）を高い画質を保ったまま約10分の1以下のファイルサイズに圧縮可能となった。また、圧縮による画質低下が気になるユーザーのために画質を完全に復元できる可逆圧縮機能も搭載している。

点検など保守作業では、微細な変化をとらえるためドストレージからのダウンロード、元の画像フォーマットへの復元なども自動化が可能で、効率的に作業を進めることができる。

クラウドストレージと連携してファイル転送と圧縮処理を同時に実行することで、転送時間を大幅に短縮。また、クラウ

同アプリの価格（税別）は、アップロード版、ダウンロード版ともに年額2万4000円／ライセンス（別途クラウドストレージであるBoxの契約が必要）。

東映デジタルラボ×東映デジタルセンター



東映ラボ・テック株式会社
—TOEI LABO TECH—
本　　社　〒182-0022 東京都調布市国領町8-9-1　03(3430)3311
銀座営業所　〒104-0061 東京都中央区銀座3-14-1（銀座三丁目ビル6F）03(5148)5600
東映デジタルラボ（株）　〒178-8666 東京都練馬区東大泉 2-34-5
TEL:03-3867-5009（代表）FAX:03-3867-5147

EXA RENTAL 4K
EXA INTERNATIONAL
中継、システム系機材を中心に、幅広いラインナップの機材をご用意。映像製作現場でのあらゆるニーズにお答えします。　※地方への発送も承ります。


12G/3G/HD ビデオスイッチャ
HVS-1200


4K/HD ビデオライタ
FVW-700-4K


12G-SDI対応
マルチパーパスシグナルプロセッサ
FA-9600


映像/音声遅延時間調整装置
EDA-1000


マルチビューワ
MV-4320


マルチビューワ
MV-1220


4Kモニタ・波形・レコーダー
BVM-X300 / LV5300 / KiPro ULTRA Plus

株式会社エクサインターナショナル　〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目16番9号
TEL：03-5575-3911 FAX：03-5575-3910 http://www.exa-int.co.jp/

半導体は積層型で発展へ

高性能半導体の専門学会「HotChips31」①

「ムーアの法則」低速化に異論

AIプロセッサー発表相次ぐ

高性能半導体の専門学会「HotChips31」（主催＝HotChips実行委員会、後援＝IEEEコンピューターソサエティ）が8月18―20日の3日間、スタンフォード大学（米国カリフォルニア州）で開催された。今回の参加者数は1100人を超え、過去最高となった。久々にスタンフォード大学のメモリアル・オーディトリアムに戻ったHotChipsは、AIプロセッサーの話題に沸いていた。一方、半導体の将来については、ムーアの法則の持続性に関する疑問が出される中、台湾TSMCのフィリップ・ウォン部長は積層（3D）化で発展を続ける考えを示した。（杉沼浩司）

★創設者を悼む

高性能半導体に絞って、シリコンバレーで開催されるHotChipsは、ロバート・スチュワート博士の発案で30年前に始まった。

IEEE（電気電子技術者学会）のコンピューター・ソサエティで規格化などに力を入れてきたスチュワート博士は、1980年代後半に多かったイベント企業主催の高価な発表会ではなく、地元エンジニアのための学会を企画した。「参加費は上司が承認できる金額」で企画されたのが、HotChipsである。

スチュワート博士は、毎回、自身が所有していたヨットの鐘を持参し、会合の始まりを報せる鐘を鳴らしていた。昨年のHotChipsに姿を見せなかったため、健康状態が気になっていたが、昨春亡くなっていたことが明らかにされた。初日に、スチュワート博士を悼む時間が設けられた。



HotChipsの創設者である故ロバート・スチュワート博士（2016年撮影）

★AI企業多数

今年のHotChipsでは、AI用半導体が多数発表された。AIの学習用、推論（実行）用の両分野にわたって、それぞれを指向したものが登場した。

この状況は、25年前に多くの半導体企業が「MPEGチップ」に、また20年前に「グラフィックスチップ」に群がった様子を思い起こさせる。

MPEGチップは、半導体内に吸収され姿は見えなくなった。例えば、今回発表された米AMDの最新GPU「ナビ」は、8Kまでのエンコード／デコードに対応する。こうなると、専用チップはGPUを搭載できないカムコーダーや監視カメラ分野に活路を見い出すしかなくなる。

グラフィックスチップの企業も数十社あったが、現在は事実上1社になっている。AIチップの会社はどうなるか。ごく少数が生き残ることになるだろう。

★ムーアの法則は？

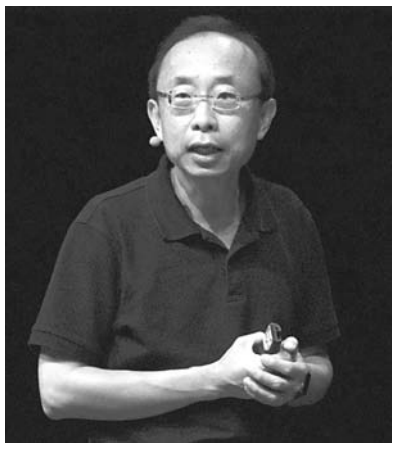
ムーアの法則とは、インテルの創業者の1人であるゴードン・ムーア博士が1965年に発表した「法則」だ。同博士が米エレクトロニクス誌で指摘したのは「コスト最小となる部品数は、毎年2倍で成長した」という経験則である。これが「集積回路上のトランジスタ数は、18カ月で倍になる」と公式化されている。

2倍になるのは、製造装置の性能が18カ月ごとに向上するからで、人為的なものである。しかしムーア博士の記事が、後に「法則」と名付けられたことから、半導体の進化を示すものにされてしまった。

最近は、18カ月ごとに倍とはいかず、ムーアの法則は「低速化」したといわれる。HotChipsで基調講演した米AMDのCEOであるリサ・スー博士も。進展の速度が低下したことを示す図を見せた。

★3D化で突破へ

一方、20日の基調講演で登壇した、TSMC本社研究部門の部長を務めるフィリップ・ウォン博士（スタンフォード大学教授兼任）は「ムーアの法則は問題ない」とした。TSMCは、世界最大の半導体製造受託企業で、世界最先端の製造技術を持つとされている。現在線幅7ナノメートルの半導体を量産している。



TSMCのウォン博士は、半導体の3D化推進を示した

ウォン博士は「N5と呼ばれる次の世代の製造も始めている。その先はN3だ」としたが、「数字は何も意味していない」と述べ、「5」が線幅を意味するものではないとした。



会場は久々にスタンフォード大学内に戻ってきた

同博士が、ムーアの法則を維持できると主張する理由は、チップレット（チップ複数枚を用いるときの呼び方）を積み重ねる技術が完成しつつあるためである。

これまでは1枚のチップであったが、数年前から複数枚のチップレットを用いて、1枚の基板上に配置する動きが目立ってきた。CPUなどの論理回路とDRAMなどの記憶回路を別々チップレットに配するものは「2D」とされる。論理回路と記憶回路は製造技術が異なるためだ。さらに記憶回路だけ積層化するものもあり、これは「2・5D」とされてきた。

今回の話題の中心である3D半導体は、論理回路、記憶回路などを分けずに積み重ねる。チップレット間は「シリコン貫通電極」を使って結び、2000年代初頭に使われた金線は使わない。この方法で、ムーアの法則が示すトランジスタ数を維持できる、というのが同博士の主張である。

放熱の問題などには触れなかったが、TSMCが3D化を進めていることが理解できる。

★メモリーを積む

ウォン博士のもう1つの主張は、モジュール内に大量のメモリーを装備することのメリットだった。現在、チップ上やモジュール内に搭載するメモリーは増大しているが、まだ足りないというのが主張である。

チップ内に内蔵するメモリーは、SRAMと呼ばれる、高速・低消費電力のものが多い。一方、モジュール内に置かれるのは、DRAMと呼ばれる低速大容量のものとなる。DRAMは、論理回路やSRAMと異なる製造技術で作られる。DRAMは専業メーカーが強い。

DRAMは低速のため、これをアクセスすると処理回路が待たされてしまい効率を上げにくい。

「すき間時間」を活用して、待ち時間を減らす工夫はなされているが、完全ではない。高速のメモリーを搭載すれば、効率を高められるという。

また、使う記憶回路も、現行のSRAMのように電源が切れると内容を保持できないものではなく、従来とは異なる原理に基づく、不揮発型高速メモリーの投入も視野に入れているとした。

ウォン博士は、論理回路のみを高速化して記憶装置は低速な場合と、論理回路の速度は現行のままで記憶回路を高速化した場合のシミュレーション結果を見せた。人工知能関連の処理では、大量の記憶領域を必要とする。

そのため、記憶回路のアクセスで「待ち」が入らなければ、論理回路を高速化しなくても十分に処理量が上がることが示された。


VRi Visual Research Inc.
付加価値の創出
リニア編集、ライブ送出、NLE と連携
ProRes 4444 with Alpha ファイルアウト
CG とテロップを同時に制作
KarismaCG
リアルタイム 3D キャラジェネ
Karisma
D-Stream
デジタル録画再生機
KarismaCG x D-Stream Link
(RDL: Real-time Data Link)
Visual Research Inc.（VRI）日本総代理店　ジャパンマテリアル株式会社　東京都新宿区西新宿 6-12-1 パークウェスト 8F　TEL 03-5323-0820　http://www.jmgs.jp

ブラックマジックデザイン

ポケシネ6Kなどを発表

13ストップ、片手で操作可能



ポケットシネマカメラ6K

ブラックマジックデザインは、小型のハンドヘルド型デジタルフィルムカメラ「ポケットシネマカメラ6K」を発表した。28万3800円から（すべて税別）。

同機は独立系映画やドキュメンタリー撮影に適した製品で、スーパー35サイズの6K HDRイメージセンサー（6144×3456）と13ストップのダイナミックレンジ、EFレンズマウントを搭載する。

2万5600までのデュアルネイティブISOに対応しているため、低照明条件で優れたパフォーマンスを発揮する。背面には5型の大型タッチスクリーンが搭載されており、フレーミングやフォーカス合わせができる。

フレームレートは61 44×2560、2・44対1および5744×3024、17対9の際60フレーム／秒で撮影できる。ProRes（4Kまで）、ブラックマジックRAW（6Kまで）で収録する。

同機は「ポケットシネマカメラ4K」を踏襲するが、大型のスーパー35センサーで6K解像度に対応しておりさらに高画質が得られる。キヤノン、ツァイス、シグマなどのレンズを使用できる。

「ウルトラスタジオ4K ミニ」はサンダーボルト3コンピューターに接続して使用するキャプチャー・再生ソリューション。既存のウルトラスタジオ後継機として、12G—SDIとサンダーボルト3のサポートに加え筐体を小型化した。11万3800円。

「ダビンチリゾルブ」での編集やカラーグレーディング、VFX、オーディオと互換があるほか、ファイナルカットプロやアビッドをサポートする。編集やカラーグレーディング、ライブ放送グラフィック、従来型の放送デッキからのアーカイブ作業、ライブストリーミング用ソリューションの構築が可能。

また「ダビンチリゾルブ16・1」をパブリックベータとして発表した。カットページを追加するなど編集機能に大幅な変更を加えた16に次ぐもので、ユーザーの協力を得ることにより、実際に使用する上での要件を反映させた改善を続けるという。

機能としてはメディア管理を向上したほか、スマートインジケーターと呼ばれるインテリジェント編集機能や、ワンクリックでクリップを分割するツールを搭載。

退屈と感じられるショットをタイムライン全体を通してハイライト表示する機能を持つ。クローズアップ編集モードも強化した。

「ブラックマジックRAWスピードテスト」はMac OS X用のパフォーマンス測定ツール。フル解像度のブラックマジックRAWをデコードすることで、コンピューターのCPU／GPU速度をテストする。

シスコ

テレワークの普及を支援

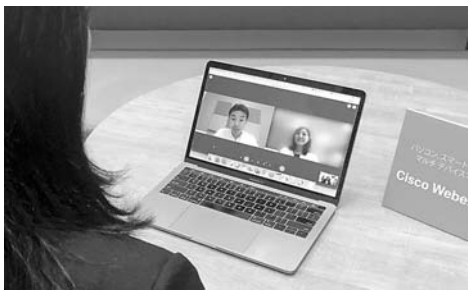
20年の東京五輪に向け

シスコシステムズは21日、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けてテレワークの普及を支援するため、クラウドベースのウェブ会議「Webex Meetings」ライセンスを3カ月間、無償トライアルとして提供することを発表した。

開催期間を含む初年度は従業員数の15%に当たる人数がサービスを利用できる契約とする。

記者会見でデイブ・ウエスト社長は、ロンドンでも五輪開催にあたりテレワークが多用されたことを紹介すると同時に、テレワークは生活と仕事のスタイルを変えること、また同社のシステムは誰もが使いやすいものであることを説明した。

デモでは、ウェブ会議システムのほか、AIを搭載したビデオ会議端末や遠隔地とアイデアを共有できるデジタルホワイトボードなどを実演した。



Webex Meetingsのデモ。背景をぼかすことも出来る

キヤノン

8Kショートムービーを公開

台湾を舞台に美しいボケ味を生かす



「Stand By You」のクライマックス。雲の隙間から漏れる太陽の光と、手前に立つ人物の肌の質感を同時に表現。ダイナミックレンジの広さを生かし、明暗差の大きい場面でも自然に映し出す

キヤノンは、自社の8KカメラとEFシネマレンズを使用して、台湾を舞台にした恋愛ドラマ「Stand By You」（6分）を制作。8月21—24日に中国・北京で開催された放送・映像制作機器展示会「BIRTV2019」の同社ブースで上映した。YouTubeの同社チャンネルでも公開している。

同作は、台湾を訪れた日本人女性と現地の男性の心の交流を描いたショートムービー。8K機材だから伝えられる精細感や奥行き感と、美しいボケを生かして制作した。

企画プロデューサー・8K技術統括である高垣俊宏氏は、「キヤノンの8Kカメラを今まで何回か使用する機会があり、ダイナミックレンジの広さと色再現性の高さをいつも感じていた。今回はショートムービーということで、ドキュメンタリーやスポーツと違い、EFシネマレンズが持つボケ味を生かした作品づくりに挑戦したいと思った」と話す。

監督・脚本の湯浅典子氏は、8Kカメラとレンズを使った印象を「超高精細な撮影はもちろんだが、ドラマチックな描写でも素晴らしい映像表現ができると感じた。ダイナミックレンジの広い画でも、光と影の表現力や8Kの精細感、奥行き感や立体感が見事に表現できている。8Kによるムービー撮影の可能性を実感した」とする。

高垣氏はさらに、「カメラヘッドがコンパクトなので、取り回しがしやすく、狭い場所でも高い機動性を活かして撮影できた。またRAW収録が可能なため編集がしやすく、8Kの圧倒的な解像度がもたらす精細さとリアリティーあふれる質感や空気感を生かした作品にすることができた」と感想を話す。精細感や被写体を際立たせられる8Kカメラとレンズに今後の可能性を感じているとも述べている。

白山ジオトレイル

選手の位置を衛星端末で確認

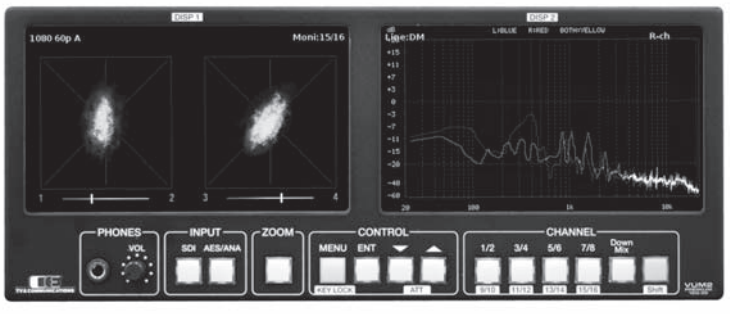
米グローバルスター製を採用

石川県の白山を、全食料を背負い7日間のテント泊で250キロメートルを走破するアドベンチャーマラソン「白山ジオトレイル」（8月25—31日）は、山岳地域でも出場全選手の位置を確実にモニターするため、米国グローバルスターの衛星GPS端末「SPOT Gen3」を採用した。

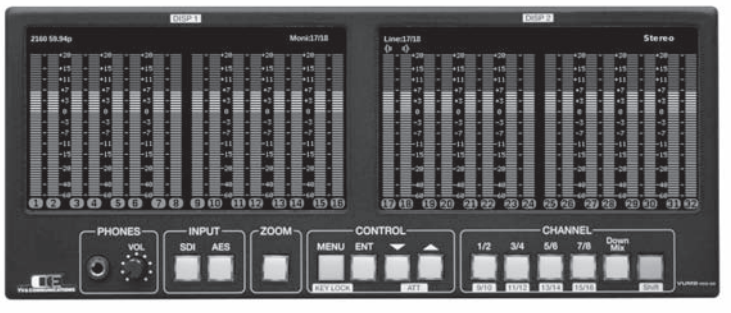
同レースではこれまで、出場選手が携帯電話の電波を利用したGPS端末を使っていたため、電波の届かない地域では選手の状況が判断できないことが多く、選手の身内からの安否の問い合わせも寄せられていた。

SPOT Gen3は位置情報が2・5分間隔で更新され、選手の動向をより早くより正確に知ることができる。緊急用SOSボタンも標準装備されている。

12G-SDI・32ch　VUマルチメータ



VUM2 PREMIUM-12G-32



VUM2-12G-32

4.3型液晶表示画面

針式メータ（2ch , 4ch , 8ch）, バーメータ（8ch , 16ch , 32ch , ズーム）
リサージュ + 位相*, スペクトラムアナライザ*, オクターブバンド*　* VUM2 PREMIUM-12G-32 のみ表示可能

ロジックジャム放送機材展2019（2019年8月28日（水）ロイトン札幌３階）に出展いたします。

株式会社コスミックエンジニアリング　〒191-0065　東京都日野市旭が丘3-2-11　tel 042-586-2933（代表）　http://www.cosmic-eng.co.jp/　mail: c1000@cosmic-eng.co.jp

新時代の大型映像ビジネス 132

ポスト有機ELとしても注目

進化する高精細ディスプレー 新たなビジネスの誕生に期待

マイクロLED／ミニLED

マイクロLEDおよびミニLEDは、微細なRGBのLEDチップを敷き詰め、画素を作り出す自発光型の表示デバイスである。大型LEDディスプレー市場で技術開発、製品化が進められており、「ポスト有機EL」としても注目されている。同製品の普及拡大により、新たなビジネスの誕生に期待が寄せられる。

（川田宏之）

●サムスンの最新技術

韓国のサムスン電子（サムスン）は、1月に米国・ラスベガスで開かれた最新エレクトロニクス機器の展示会「CES2019」で、マイクロLEDを採用した75型4KマイクロLEDディスプレーやミニLEDディスプレー「The Wall」など、最新の高精細ディスプレー技術を発表した。75型4KマイクロLEDディスプレーは、LEDチップ間のギャップを狭める最新の半導体製造プロセスを導入している。

サムスンではLEDの画素ピッチは公表していないが、後述する146型4KのThe Wall1の画素ピッチが0・84ミリメートルということから計算すると、0・4ミリメートルピッチ台のLEDを使用していると推定される。この0・4ミリメートルピッチという数字は、現時点で発表されている大型LEDディスプレーの中で最も精細なLEDディスプレーであるということがいえる。まだ開発品ではあるが、LED技術はここまで進化してきていることを証明した。


サムスンの「The Wall」（東京・NGCのショールーム）

このように脚光を浴びつつあるマイクロLEDであるが、スタジアムや街頭大型ビジョン、デジタルサイネージ（サイネージ）などの市場で普及している大型LEDディスプレーに使用されているRGBのLED素子を究極に小さくして、スマートフォン（スマホ）やテレビなどにも使えるようにするというのが、マイクロLEDの最終的な開発の目標である。

マイクロLEDのスマホ向けやテレビ向けの製品の販売はまだないが、サムスンがCES2019で発表した75型のマイクロLEDテレビは、その可能性を大きく広げた技術発表といえるだろう。

英国系市場調査会社、IHSマークイット日本事務所の早瀬宏シニアディレクターは「マイクロLEDは、ポスト有機ELとして注目されている。

ソニーが『クリスタルLED』として大型ディスプレー市場に投入している製品が、マイクロLEDの一種である。現状はサイネージなど業務用大型映像としての用途であるが、さらに今後LEDのディスプレーを構成できる。画素ピッチは0・84ミリメートルピッチである。

既に業務用LEDディスプレーとして、世界各国で発売されており、販売が遅れていた日本でも今年7月からエヌジーシー（NGC）が取り扱いを開始している（9面に関連記事）。

The Wallは、CES2019などの報道では「マイクロLED」とされているが、NGCが日本で販売をする際に作成したパンフレットによると「ミニLED」となっており、ここではミニLEDとして説明する。

The Wallに搭載されているLEDのチップサイズについて、サムスンは公開していないが、一般的には100ミクロン未満のLEDチップを使った製品をマイクロLEDディスプレーと称しており、100ミクロン以上のサイズをミニLEDとしている。

公表されているものとしては、ソニーのマイクロLED製品「クリスタルLEDディスプレー」は0・003平方ミリメートルであるから3ミクロンである。サムスンのThe Wallは、ミニLEDと称しているので少なくとも100ミクロンで、その差は大きい。だが業務用の大型LEDディスプレーの用途であれば、その技術的差異がどこまでディスプレーの性能面での差になるのかは未知数だ。

少なくともサムスン製品の方がソニー製品よりも価格はかなり安い。また、もう1つの画質の指標であるドットピッチに関しては、ソニー製品の1・2ミリメートルピッチ台に比べて、サムスン製品は0・8ミリメートルピッチ級のLEDディスプレーは、既にSMD（表面実装）方式やCOB（チップオンボード）方式の業務用LEDでも開発されている。中国のAOTOなどもSMD型ミニLED製品は市場投入しているため、将来的にはこのような映画館の大画面スクリーンへの応用展開も期待できる。


ソニーのクリスタルＬＥＤディスプレー（横浜・資生堂ロビー）

ソニーもデジタルシネマ事業には全社的に注力しており、クリスタルLEDの映画館への投入も視野に入っているという。映画館のスクリーンがLEDになれば明るい場所でも使えるだけに、映画以外のライブビューイングやイベントなどでの利用も今以上に拍車がかかるだろう。

●クリスタルLED

ソニーが2017年初頭から市場に投入した大型映像用のクリスタルLEDが、マイクロLED

●Theウォール

サムスンはCES2019において、219型6K画質対応のThe Wallも展示している。

Ginza Sakuraya
TOTAL AV SOLUTION

ハイクオリティな映像表現に必要な機器のすべてを、
トータルにサポートできる豊富なラインナップと技術力。

それが、プロフェッショナルたちに選ばれる理由。

Capturing 撮る
Editing つなぐ
▶▶ 銀座サクラヤのCESコンセプト
Showing 見せる



映像・音響機器のレンタル・販売　株式会社 銀座サクラヤ
http://www.ginzasakuraya.com

サムスンの高精細LEDディスプレー

エヌジーシーが国内販売開始

幅広い分野をターゲットに展開

エヌジーシー（NGC）は、日本国内では初となる韓国・サムスン電子製の次世代超高精細LEDディスプレー「The Wall」（オープン価格）の販売を開始した。

同社ビジュアルソリューション事業部事業部長の河村英之氏は「The Wallは、海外の展示会などに出展され高い評価を得ていたこともあり、以前からデジタルサイネージ関連で取引のあったサムスンの担当者と交渉し、輸入販売することになった」と話す。

The Wallは、従来のLEDに比べ大幅に表現の幅を広げたLEDとなっている。従来のLEDでは黒表示の際に黒浮き（暗い部分が真っ黒にならずに灰色っぽく見える現象）が見られるが、同ディスプレーは独自の技術で改善した。

また、従来のLEDと比べ2倍の色再現性を実現。さらにHDR10およびHDR10+に対応し、最適なピーク輝度と正確なグレースケール表現を可能にしている。

河村氏は「自動車、航空機の設計・デザインレビューといった産業分野をはじめ、エンターテインメント、企業ショールームなどを幅広い分野をターゲットにしている。当社の本社ショールームには、4KサイズのThe Wallを常設しているので、関心のある方は当社に連絡して予約を取れば、実機を見ることができる」という。



河村氏と4K対応「The Wall」（横3.2㍍×縦1.8㍍＝約146型／東京・麹町の同社ショールームに設置）

ショールームに4K型常設

画素ピッチは0・84㍉で、国内で通常販売されている大型LEDディスプレーの中では最も高精細だ。輝度は500㌢㌢（最高輝度1600㌢㌢）、コントラスト比は1万対1。初年度10セットの販売を目標にしているという。

河村氏は「7月に関係者や顧客向けに内覧会で披露し、評判は上々だった。これまで当社では多様な種類のLEDディスプレーを扱ってきたが、その中でも最高峰に位置するLEDと自負している。デジタルサイネージユーザーを中心に広く拡販を図りたい」と意気込む。

韓国製ということで、昨今の日韓関係が懸念されるところだが、「この製品は業務用ということもあり、製品の輸入や供給に全く問題はない。メンテナンスなどは当社が国内で手掛けるので安心して利用できる」と語っている。

比較されることが多いソニーの「クリスタルLED」は画素ピッチが約1・2㍉で、The Wallの方が高精細仕様になっている。LEDに関しては、クリスタルLEDは「マイクロLED」、The Wallは「ミニLED」を採用。この点では、ソニー製品の方がサムスン製品より細かいLEDを使用していることになる。

価格は「オープン価格だが、従来のSMD（表面実装）型O・8㍉ピッチ台のLEDと比べても、それほど変わらない価格で提供が可能」（河村氏）としており、ソニー製品よりは安価といえる。

日本市場では、中国製LEDが市場を席巻しているが、韓国から上陸したThe Wallの今後の展開が注目される。

新会社　アカミビジュアル

赤見電機の社員中心に設立

「顧客に最適なLED製品を」

大型LEDディスプレー販売を主業務とする、アカミビジュアル（AKV／東京都千代田区）が7月22日に発足した。社長の野田卓氏は、7月9日に経営破たんした赤見電機において、長く大型LEDディスプレーの営業を担当。赤見電機での最後の役職は東京支社長であった。AKVは赤見電機との資本関係は全くないが、この東京支社のスタッフが中心となって新会社を設立した。今後の活動計画などについて、同社の片桐伸泰副社長に聞いた。（川田宏之）

副社長でLED事業戦略プロデューサーの片桐氏は、赤見電機での社歴は1年余りだが、バルコやヒビノ、プリズム、中国のヤハム社などに在籍した経験を持ち、大型LEDディスプレーの販売一筋で業界を渡り歩いてきた。

――新会社発足の経緯は。

「赤見電機の経営破たんで社員が無職状態になってしまったため、窮余の策で私と社長（野田氏）が中心となって新会社を立ち上げた。赤見電機と資本関係はないが、これまでやってきた自分たちの仕事を各自が続けている。経営破たんは、直前まで社員といえども全く分からなかったので、新会社は短期間で出資者を探して設立となった」



片桐氏

――社名に〝アカミ〟を残したのはなぜか。

「赤見電機は、日本初の本格的なフルカラーLED大型ビジョンを渋谷駅前に設置した、この業界でレジェンド的なメーカーである。街頭大型ビジョンの累積設置台数では、現在でも日本一だと思う。資本関係はないが、赤見電機にかかわったスタッフが大半であり、赤見のブランドを残したいという思いから、アカミを付けた」

――どのようなビジネスモデルになるのか。

「LED製品は、市場ニーズを製品企画に取り入れて設計・開発し、契約する中国のLEDメーカー工場で、AKVブランドの製品として製造。AKV基準で独自の製造工程と品質管理、出荷検査の後に日本に運び、設置・施工・映像調整、アフターメンテナンスをする」

「LED事業に関する一連の業務に最後まで日本製にこだわった赤見電機のDNAを受け継ぎ、工場のラインを持たないファブレスメーカーとして、顧客に最適な製品とサービスを届けていきたい」

――赤見電機時代に設置された製品のメンテナンスは。

「それに関しては、赤見電機に対する債権などの問題で、当社から顧客には積極的な案内ができない。もし要望があり、対応可能ならば請け負いたい。しかし、おおむね5年以内に設置された製品は問題ないが、それ以前の古いものは部品がない場合があり、システムに関しても分からないため、難しいだろう」

――今後の展開は。

「この業界は競合が多いが、赤見電機時代に築いた信頼性と安定性、中国製でありながらも他社とは違うAKVブランド製品の確かさを顧客にアピールすることで、市場での地位を高めていきたい」



多目的簡易ブース（アナウンス・編集・MA）
あなたのオフィスがスタジオに～
安価
簡単設置
短期で施工

●サイズはフレキシブル（設置場所に対応）
●解体・移設も可能
●遮音性能 Dr40

映像スタジオ施工
MA室 ブース 各種 編集室 注文制作家具
Takahashi Construction Co., Ltd.
SOUND PROOF
～映像・音響専門
SINCE 1979～
一級建築士事務所
高橋建設株式会社
本社 〒216－0032 神奈川県川崎市宮前区神木1－7－8
TEL044-853-0547 FAX044-852-1588
（社）日本ポストプロダクション協会会員／（社）日本音楽スタジオ協会会員
（社）日本音響学会会員
デジタル映像環境に対応、直営システムに依る徹底したコストダウン
映像・音響・防音 プランニング・施工
http://www.takahashi-kensetsu.co.jp
info@takahashi-kensetsu.co.jp

NOUVELLE ÂGE

8K



4K・8K 編集から MA まで
トータルコーディネート

P2 422 ／ 22.2ch 対応

「ミタコトナイ」を創像する。

ヌーベルアージュ株式会社

www.nouv-age.co.jp

・メインエディットシステム **Quantel Rio**(8K/60P HDR・4K/60P HDR対応) プラグイン **Sapphire、Neat Video、Primatte Keyer**
・サブエディットシステム **Avid Media Composer**(4K/60P HDR対応)、**DaVinci Resolve Studio**(4K/60P HDR対応)、**Adobe After Effects**
・８Kモニター **SHARP LV-85001**(85インチ 8K HDR対応)　・４Kモニター **SONY BVM-X300**(30インチ 4K HDR対応)
・８Kレコーダー **Panasonic AJ-ZS0500**(LTO バックアップシステム込)
・インジェストシステム　**nep infini(8K対応)、Colorfront Transkoder for Windows**(4K/60P HDR対応)
・22.2ch再生可能　・色域変換プロセッサー **LMCC-8000**

エース松涛ビル	〒150-0046	東京都渋谷区松濤1-4-7 エース松涛ビル 5F･7F	ECS編集室 2部屋／PD編集室 5部屋／MA室 2部屋
下田ビル	〒150-0042	東京都渋谷区宇田川町37-13 下田ビル 2F･4F	ECS編集室 2部屋／PD編集室 6部屋／MA室 1部屋／8K編集室 1部屋
サイトービルIII	〒150-0042	東京都渋谷区宇田川町34-5 サイトービルIII 6F	ECS編集室 3部屋／PD編集室 11部屋／MA室 3部屋
麻仁ビル	〒150-0042	東京都渋谷区宇田川町37-10 麻仁ビル 4F	PD編集室 6部屋
眞砂ビル（受付）	〒150-0042	東京都渋谷区宇田川町37-13 眞砂ビル 2F	
		TEL 03-5738-5490 FAX 03-3468-0303	

8K特集 スーパーハイビジョン

フルスペック8Kが前進

8Kのコンテンツ制作、放送技術が着実に進化している。技研公開2019（5月30日―6月2日、NHK放送技術研究所）では、現在の8K放送の2倍のフレーム周波数に対応した8K 120Hz対応の各種開発機器を接続。一気通貫のシステムによって、中継現場からのIP伝送、ライブ制作や、衛星伝送、シート型有機ELディスプレーでの表示までを実現する「フルスペック8Kライブ制作伝送実験」が公開された。

NHK技研公開で8K 120Hz各種機器

ライブ制作伝送を実演

IP伝送や編集・符号化装置など

同実験は、二子玉川駅にフルスペック8Kカメラを置き、そこからの8K 120Hz映像、および同VTR映像を、技研が開発した軽圧縮IP伝送装置を用い、TICOコーデックで1/6程度に圧縮。この信号を10ギガビットイーサネット4本で技研までIP伝送した。22・2ch音響も同時に送っている。

技研ではこの映像を、8K 120Hz対応のオンライン編集機に収録し、リアルタイム編集するとともに、22・2ch音響同時収録・ミキシングをした。

衛星伝送は、ライブ制作したコンテンツを、8K 120Hz映像符号化装置によって、HEVC/H・265 Main10プロファイルで、元の映像の1/600ほどになる250Mbpsに圧縮。TSoverIP出力し、BSAT―4a衛星の21GHz帯中継器を用いて伝送した。


8K 120Hzオンライン編集機

BSAT―4a衛星は新4K8K衛星放送で使用している衛星。ここに21Gbpsの伝送試験用装置が搭載されており、これを使用している。アップリンクは、技研公開会場の外に置かれたBSATの衛星アップリンク車から18GHzでアップリンクし、21GHzでダウンリンク。これを技研屋上のパラボラアンテナで受けている。

技研ではこの信号を復号し、8K 120Hz対応の88型シート型有機ELディスプレーに映像を表示するとともに、ラインアレイスピーカーを用いたトランスオーラル再生法で22・2ch音響を再生した。

同実験では8K 120Hzに対応した最新機器が用いられている。

二子玉川駅からIP伝送された8K 120Hz映像を表示していたのはフルスペック8K対応の液晶ディスプレー。31・5型のマスターモニターサイズで、広色域、HDR（HLG、PQ）、SDR対応で、最大輝度は1000cd/㎡／平方メートルである。技研がシャープと共同開発した。

8K 120Hz対応オンライン編集機は、8K 120Hz映像を収録しながら、編集・再生が可能だ。スポーツのハイライト編集などで利用できる。圧縮方式はXAVC―Intra Class300（4・8Gbps）。さくら映機と共同開発している。

8K 120Hz映像符号化装置は、富士通研究所と共同研究を進めているもので、4K 60Hz映像符号化装置を12台、並列動作させている。今年は新たに「準2パス符号化」という処理機能を持たせた。

これは、8K 120Hz映像を4K 60Hzに縮小した映像を先行して符号化。その結果を利用し、劣化が目立つおそれのある領域に優先してビット量を割り当て、符号化劣化を低減する制御をする。これによって8K 120Hz映像の符号化画質の向上を図っている。

トランスオーラル再生法は、音源の位置から両耳までの音の伝わり方を再現することにより、スピーカーを設置することなく、あたかもその方向から音が聞こえてくるような効果を作り出す。

ここでは、多数のスピーカーを設置することなく、テレビの上下に設置したラインアレイスピーカー（複数の小型スピーカーユニットを内蔵するスピーカー）で、22・2ch音響の、側方・後方・上方のチャンネルから到来する音を再現した。この研究の一部はシャープと共同で進めている。

8K映像をHD映像に変換するためのHDR／SDR変換技術も展示された。HDR映像の色相をできるだけ保持する形で変換している。

8K 120Hz映像符号化装置は、富士通研究所と共同研究を進めているもので、4K 60Hz映像符号化装置を12台、並列動作させている。今年は新たに「準2パス符号化」という処理機能を持たせた。

これは、8K 120Hz映像を4K 60Hzに縮小した映像を先行して符号化。その結果を利用し、劣化が目立つおそれのある領域に優先してビット量を割り当て、符号化劣化を低減する制御をする。これによって8K 120Hz映像の符号化画質の向上を図っている。

トランスオーラル再生法は、音源の位置から両耳までの音の伝わり方を再現することにより、スピーカーを設置することなく、あたかもその方向から音が聞こえてくるような効果を作り出す。

ここでは、多数のスピーカーを設置することなく、テレビの上下に設置したラインアレイスピーカー（複数の小型スピーカーユニットを内蔵するスピーカー）で、22・2ch音響の、側方・後方・上方のチャンネルから到来する音を再現した。この研究の一部はシャープと共同で進めている。

池上通信機

2002年に8K技術開発 医療向けの応用展開も

池上通信機の8K技術開発は、2002年に4CCDカメラから始まった。2010年には、オリンピックなどのスポーツイベントで実用化、2015年には小型ハンディタイプの8Kカメラを開発するなど8K放送技術にかかわっている。

こうした技術開発を背景に医療用へも展開。NHKエンジニアリングシステムと共同開発した世界最小という医療用8K解像度カメラ「MKC―820NP」を5月に発表し、医療業界の展示会などで実演した。

同カメラは、アスペクト比を1対1とするスクエア（正方）・イメージング技術と有効対角長8・8ミリメートルの小型センサーを用いている。



医療用８Ｋカメラの展示



たくさんの未来を世界へ

AZLAB
THE INNOVATIVE FUTURE DESIGN

16K120P非圧縮映像再生システム / 8K60Pカメラ映像リアルタイムキャプチャ＆ズーム /
8K60P リアルタイムキャプチャ＆ブレンディング / 次世代ビデオウォールシステム / A.I. 映像生成　他

2019年 大阪支社を開設しました

www.azlab.co.jp

アズラボ株式会社　AZLAB,Inc.

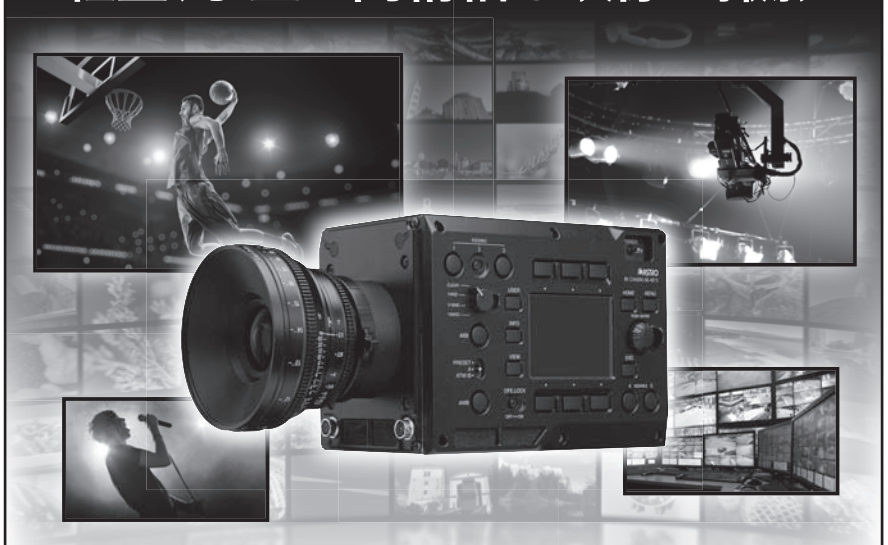
東京本社
〒152-0022
東京都目黒区柿の木坂3-3-1 TRCビル3F/5F
TEL: 03-6453-1855 FAX: 03-6453-1856
E-MAIL: info@azlab.co.jp

大阪支社
〒541-0046
大阪府大阪市中央区平野町3-1-10
オーセンティック淀屋橋1101
TEL: 06-6226-8684 FAX: 06-7739-5988

ASTRO

8K 120p カメラシステム

軽量、小型で高精細な映像を撮影



8K 120Hz ポータブルカメラ
AB-4815



120p 撮影機材システム

8K120p/60p映像をリアルタイムにVIDEO出力するカメラシステムです。
高精細な映像を撮影することが可能なため、細部までありのままを表現することができます。
スポーツ、イベント、監視などさまざまなシーンでご利用頂けます。



アストロデザイン株式会社
URL http://www.astrodesign.co.jp

事業本部（営業）
〒145-0066 東京都大田区南雪谷1-5-2
TEL:03-5734-6301 FAX:03-5734-6102

大阪営業所
〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島1-18-27-1010
TEL:06-6328-8558 FAX:06-6328-5058

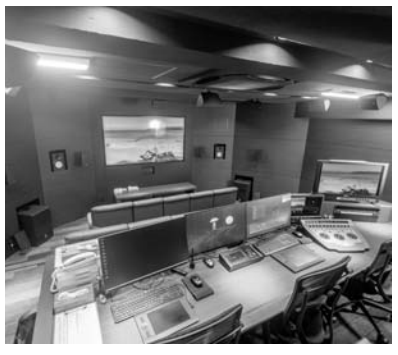
メルマガ 登録はこちら → http://www.astrodesign.co.jp/astro/mailmag/index.html

8K特集 スーパーハイビジョン

8Kプロダクションの現状

8Kのポストプロダクションについては、編集室の数はまだ少ないものの、確実に稼働を重ねている。

都内では、ＩｍａｇｉｃａＬａｂ．が2016年に8K編集室を構えたのに続き、今年4月には、日テレ・テクニカル・リソーシズが、4K編集室を8K編集室にリニューアルし、放送番組やイベント映像を8Kで制作している。同室は4月の開設から徐々に実績を積んできたが、9月から本格的に始動する。イベントで上映する長尺のドラマ編集も予定していると いう。


ヌーベルアージュ8K編集室

編集作業は徐々に「4K並み」

今後の課題 番組の長編化と低コスト化

ヌーベルアージュは、東京都渋谷区に8K／4K編集室を構え、メインの編集システムに「Ｒｉｏ」を備えている。

同社は今年4月以降、海外紀行やスタジオ収録のバラエティーなど、放送番組を中心に1カ月で平均1、2本を作業している。企業イベントや展示会向けの映像もあるという。

編集作業について、同社の担当者は「単純なテロップ入れやカラーグレーディング作業は4K編集に近い形で実施できるようになったが、高精細故に、これまであまり気にする必要がなかったノイズ、フリッカーなどの修正やクオリティーアップのための処理に時間を要している。このため、複数台のワークステーションでの分散作業やより効率的な作業が可能なアプリケーション・プラグインを選定している」と説明する。

また、8K制作を手掛けるなかでの変化もある。「2K、4K制作と比較すると オンライン編集期間を長く設定していただいているが、徐々に短期間での作業や短納期化、つまりある程度の低コスト化を求められるようになってきていると感じている」という。

さらに、BS 8K本放送開始前、番組尺は1時間以下が主流だったが、現在は1時間半―3時間超えのものもあるなど番組尺の長編化や大作化が進んでいるとして、「長編化と低コスト化という相反する要素が今後の課題となる」と指摘する。

今後については「現在はハイエンドターンキーシステムで制作しているが、今後はよりコンパクトで安価な、従来のノンリニア編集ソフトの延長としての制作環境も必要。一方でフルスペック8Kと呼ばれる『8K解像度』『HDR』『BT・2020』『120ｐ』『12ビット』をすべて実現できるハイエンド環境も構築する必要があるため、システムの二極化が進んでいくのではないか」と展望を話している。

アストロデザイン

カムコーダーはUI改善

8K機材、編集室レンタルも

8Kを中心とした次世代放送ソリューションを提供するアストロデザインは、撮影から編集、伝送、出力、コンテンツに至るまでのあらゆる8Kシステムをそろえている。さらに制作機材や編集室をレンタル営業するなど、8K制作のすそ野拡大に努めている。


8Kカムコーダー

6月に開催した内覧会では、シャープ共同開発の8Kカムコーダー「8C―B60A」のUI改善版を参考出展。ユーザーから寄せられていた要望を元に、ボタンの位置や12G―SDIでの4K出力など、使い勝手を向上させた。8Kカメラ用水中ブリンプが協力会社から用意されているなど、利用環境を向上させている。

ライブ制作用には、2160ｐと120ｐ、60ｐに対応した8Kビデオサーバー「SR―8428」や、4K DSKを2台連動した4系統スーパー入力対応8K DSK「HD―1679」などがある。

高性能ワークステーション「Tamazone Workstation」は、8Kのノンリニア編集システムやカメラフィードの収録など、さまざまな場面で運用可能。高い演算処理能力によるアップコンバートや、高精細3DCG制作にも利用できる。

ペイロードIDの異常をSNMPのトラップで通知する機能もある。

朋栄IBE製SHV放送用字幕データ制作システム「NeON―SHV」は、8K／4KおよびHD用字幕の制作システム。従来のNeON―VIIIと同等の操作性や話速変換などの機能を保持したまま、SHVに対応し、スピーディーで効率の良い字幕制作環境を提供する。

朋栄

信号変換や字幕制作など

8K制作の支援装置充実

朋栄は、信号発生器や信号変換装置、ルーティングスイッチャー、さらには字幕制作に至るまで、8K製品のラインアップを拡大している。

朋栄エレテックス製8K／4K／HD対応HDR⇔SDR変換器「LMCC―8100」「LMCC―8000A」は、8K―422（※）、8K―DG（※LMCC―8000Aのみ）、4K DR間（PQ／HLG）の変換ができる。4K／HD時、変換出力、または入力信号スルー出力から選択可能。入出力ゲイン調整、KNEE調整機能により変換結果を微調整できる。EOTF／OETFはSDR／HDRそれぞれ8種類から選択可能。入力信号、ファン、SDR／HDR変換やHDの各信号の色差間、およびダイナミックレンジを変換する装置。NHKと共同開発した。LMCC―8100は12G―SDI入出力に対応する。


LMCC-8100

色域はRec・709とRec・2020の相互変換、ITU―R BT・2100に対応した

VRi

8K全領域対応キャラジェネ

レンダリングなしで生成

ビジュアルリサーチ社（VRi）は5月、KOBA2019（韓国国際放送機器展）で、世界初という8Kの全領域を使用した超高画質リアルタイム3Dオンエアグラフィックスシステム「KarismaCG 8K」を発表した。

フルHD（約200万画素）の16倍、4K解像度（約830万画素）の4倍となる8K（約3300万画素）の超高画質3Dグラフィックスを、レンダリングせずにリアルタイムで生成し、送出はSDIに対応。これまでの8K領域の一部分に限られた送出方法や、複数のグラフィックスシステムを使用した画面分割表示の方法などに対して、KarismaCG 8Kは1台で、8K解像度の全領域7680×4320画素をフルに使用した「リアル8K」を実現した。


KarismaCG 8K（7月のジャパンマテリアル内覧会で撮影）

8K コラボレーティングワークフロー
これまでにないパワフルな制作環境を実現
4K/8K HDR HFR グレーディング / オンラインフィニッシングマシン
:SGO mistika


スケールアウト型・8K共有ストレージ
Quantum
Xcellis
POWERED BY StorNext
共信コミュニケーションズ株式会社 Kyoshin communications
東京都品川区北品川5-9-11 大崎MTビル3F・4F
TEL：03-3445-2070　Mail：info_mk@kycom.co.jp
kycom.co.jp

8K特集 スーパーハイビジョン

世界に広がる8Kへの認識

海外メーカー製の機器が増加
望まれる記録媒体の規格化

8Kへの認識が世界に広がっている。昨年までは、8K機材の開発は国内メーカーに限られ、海外製の装置はディスプレーやポストプロダクション機材の一部に限られていた。

風向きの変化が見え始めたのは、1月の「CES」だ。映像関連の講演では「4K／8K」というように表現され始めた。

そして、4月の「NABショー」では、海外メーカー製の8K機器が増えてきた。9月の「IBC」でもこの傾向は続いており、8K関連の新製品投入が続く。

8Kは、長らく日本国内の話題、特に研究の話題として扱われてきた。しかし、放送が始まったことでクリエイターの関心も高まっている。製品投入には、2年から5年の開発期間が必要になる。メーカーは、この流れを読んでいたに違いない。放送の開発が市場を拡大することを心待ちにしていたのである。

この夏に開催された、CG・対話型技術の学会「SIGGRAPH（シーグラフ）2019」でもVRやARを論じるとき「4K／8K」との表現が目立った。2K（ハイビジョン）以上の解像度として、8Kも人々の意識にあがっていることが明らかだ。

8Kの次の山は、衛星以外での放送となる。おそらくインターネットで8Kサービスが始まるだろう。これが次の飛躍の機会となる。

これまで8K用に考えられてきたHEVCではなく、その次の世代の符号化（圧縮）方式であるVVCが実用的なレベルになっていれば、毎秒70メガビット以下のデータ量で配信するのも現実的となる。時間を掛けて符号化すれば毎秒50メガビットを割ることも夢ではない。これならば、配信可能となる地域も多い。放送とは別の世界での立ち上がりも期待できる。

装置の幅が広がり始めたとはいえ、8K機材はまだまだ間口が狭い。例えば、録画機器は種類が限られている。もはやテープの時代ではないため、皆が同じ機器を使う必要はない。しかし、現状は「デジタル信号に戻せれば、交換は可能」というレベルであり、媒体のやりとりが容易にできる状態とは言い難い。

カムコーダーはメモリーカードが主力媒体であるため、相互運用にほとんど問題はない。一方、媒体から得られたデータが、記録者が望む形で再生できるかは運次第となる。データ化されているので、何らかの処理を施せば再生可能なはずだが「カセットを入れれば出画する」程度に容易にするには、業界の合意が必要だ。

8K用のメモリーパックの提案などがなされている。8Kが立ち上がるこのチャンスを逃さないためにも、迅速な規格化が望まれる。（杉沼浩司）

アズラボ
8K60pの切り出しシステム
ズームをリアルタイムで実現


アズラボの切り出しシステム

アズラボは、独自のリアルタイムソフトウエア技術を利用した次世代テクノロジーの開発に取り組んでおり、高精細映像の再生システムや次世代ビデオウォールなど、オンリーワンテクノロジーを活用した最先端映像システムを提案してきた。

その1つに、タブレット端末対応の映像切り出しシステムがある。超高精細映像のリアルタイム処理を特徴とする同社のハイエンド技術を活用することで、8K60p映像のキャプチャーと切り出し、さらにズームエフェクトをすべてリアルタイムで実現した。

キャプチャーでは、8K60p業務用ビデオカメラ映像の入力に対応したSDIインタフェースを装備した同社のビデオストリームエンジンを利用する。HDR表現に欠かせない10ビット入力にも対応している。

切り出し&ズームは、キャプチャーした映像の任意の場所を切り出し拡大表示できる。8Kならではの超高精細映像により、拡大しても滑らかな映像を表示する。

新たに開発したエンジンにより、8K60pのリアルタイム収録と再生も可能。カメラ映像だけでなく、収録映像もリアルタイム変換できる。

キャプチャー映像はタブレットに表示される。タッチ操作のみで映像の切り出しやズーム、複数モニターへの出力など、超高精細映像の新しい操作体験を提供する。

パナソニック
8Kからの HD切り出し
マルチカメラ的に運用


イメージプロセッシングユニットAK-SHU800(右上)、8Kマルチパーパスカメラ AK-SHB800GJ(左下)

パナソニックは、4K8K映像システムの一環として、「8K ROI（切り出し）カメラシステム」を4月のNABショーで発表した。新製品の高精細8Kマルチパーパスカメラ「AK－SHB800GJ」とイメージプロセッシングユニット「AK－SHU800」とフレーミング制御ソフトウエアをインストールしたPCとの組み合わせで、8K ROIカメラシステムを構成する。

高精細・広画角の8Kカメラ映像から最大4枠のHD映像を切り出し、それぞれにフレーミング（パン・チルト・ズーム操作）できることにより、1台のカメラで4台のHDカメラのように運用できる。さらに最大8台の8Kマルチパーパスカメラをシステム接続し、1台のカメラのフレーミング操作にほかのカメラのフレーミングを自動追従させることも可能。周辺部の切り出しにおいても、広角歪み自動補正機能により、自然な映像を実現した。

共信コミュニケーションズ
8K対応リアルタイム編集 フィニッシングシステム

SGO（スペイン）製「MISTIKA Ultima」は、ポストプロダクションのオンライン作業用途で、4K～8Kの高速な処理とプレビュー、ベースバンド書き出しに対応した、8K／4K解像度および、HDR／HFRに対応するグレーディング／フィニッシングシステム。8K作品のフィニッシングシステムとして、実績を伸ばしている。マルチレイヤー構造で、HD、2K、4K、8K編集作業にリアルタイムで対応する。


Mistika boutiqueターンキーシステム(パネル別売り)

MISTIKAを国内総代理店販売する共信コミュニケーションズでは、クアンタム製共有ストレージ「Xcellis」をSANシステムとしてワークフローに組み込み、周辺機器も含めた8K／4K制作環境の構築をトータルに提案できる体制をとっている。

また、4月のNABショーでは、SGOからMac／ウィンドウズ各対応サブスクリプション版ソフトウエア「Mistika Boutique（ブティック）」のリリースが発表された。共信ではこれを国内向けに4Kターンキーシステムとして、5月に発売した。


過去×未来　人×映像
IMAGICA Lab.
映像でつなぐ、映像がつなぐ。人でつなぐ、人がつなぐ。
未来の映像コミュニケーションをデザインします
事業内容
撮影、映画・TV番組・CM・PR等の映像・音声編集、DCP（デジタルシネマパッケージ）作成、コンテンツ流通・配信サービス、フィルム現像・プリント、映像の修復・復元・保存サポート、デジタル合成・VFX・CG / グラフィックデザインの企画・制作、吹き替え・字幕・翻訳、映像コンテンツの企画制作、イベント等の企画制作、Web やモバイルなどを利用した広告・宣伝・プロモーションの企画制作、システムやアプリケーションの開発、保守運用など、各種映像技術サービス
IMAGICA
www.imagicalab.co.jp
2018年10月1日、（株）IMAGICA、（株）IMAGICA ウェスト、（株）IMAGICAイメージワークスは合併し、（株）IMAGICA Lab.となりました。

PJ総合研究所・ビジネス資料集

PM「プロジェクションマッピング」&
BIG LED「高精細大型LED」&
DS「デジタルサイネージ」&
VR「バーチャルリアリティー」&
イベント&事例
導入資料集『2019』

発売中



・編集＆発行：PJ総合研究所／2019年4月27日発行
取材／川田宏之（大型映像評論家）、
PROJECTORS編集部
・ページ数：128ページ
・販売価格：8,100円／冊（税込、送料サービス）

＜主要記事＞

- プロジェクションマッピング：予算、事業主体、レンタル会社、使用プロジェクター、システム構成など網羅
- BIG　LED：導入場所、価格、事業主体、使用ディスプレイ、システム構成など網羅
- デジタルサイネージ：導入場所、価格、事業主体、使用ディスプレイ、システム構成など網羅
- バーチャルリアリティー：主要メーカーVR事業＆導入事例、HMD、シミュレーターなど網羅
- イベント＆事例：タイムリーな事例中心の紹介

※ 発行の狙い ※

「プロジェクションマッピング」、「BIG LED」、「デジタルサイネージ」、「バーチャルリアリティ」、「イベント＆事例」5つを１冊にまとめた2019年版導入資料集です。本誌は2014年から資料集年鑑として発行しているもので、都合6冊目になります。いずれも実践例、費用などを他では得られないデータを掲載しており大変好評です。デジタルサイネージ、BIG LED、DSなどは導入場所、価格、事業主体、使用ディスプレイ、システム機器＆構成などを詳しく提示しております。これから手掛けようとする事案のある関係の方々は、各種映像システムの設計と手法、効率的運用、設置性、受注方法などの資料が入手できることからも、見過ごせない貴重な参考書です。

※ 発行形態 ※

導入資料集（2019年版）、印刷本（電書として電子書店で併売）

※ 編集形態 ※

掲載の事例は１ケ所を見開き２ページ（カラー）で紹介

映像新聞のサイトから、もしくは必要事項をご記入のうえFAXにてお申し込み下さい。

www.eizoshimbun.com　　FAX 03-3942-2581

お申し込み＆お問合せ／映像新聞社 TEL 03-3942-2161 info@eizoshimbun.com　　**発送／（有）エーブイシー TEL 070-6655-7886**

PJ導入資料集2019 購入申込書

必要部数：　　部	ご住所：
御社名：	
部署名：	TEL
お名前：	E-mailもしくはFAX

テレビCM出稿タレント
関東地区は「渡辺直美」が1位
ビデオリサーチが19年上半期まとめ

ビデオリサーチは、関東・関西・名古屋3地区の各民放5局を対象に2019年上半期（1―6月）のテレビCM出稿動向をまとめた。

商品種類別でみると、3地区とも「通信・web系サービス」が2位以下を大きく引き離し、最も多く出稿（秒数ベース）された。けん引したのは、「Indeed」「ディップ」（求人サイト）のほか、「スマートニュース」（ニュースアプリ）「リクルートライフスタイル」「オープンドア」「トリバゴジャパン」（旅行情報サイト）、「グーグル」（検索サイト）のCMとなっている。

タレント別テレビCM出稿ランキングは、関東地区は『渡辺直美』が2位の『土屋太鳳』、3位の『綾瀬はるか』を抑え、初めてトップとなった。関西地区では『濱田岳』、名古屋地区は『土屋太鳳』がトップで、地区によって差がみられる。

関東地区でトップの『渡辺直美』は、「アフラック生命保険」をはじめ「BOAT RACE振興会」「コカコーラ」のCMが寄与し、昨年8位から上昇した。上位の中で躍進が著しいのは「KDDI」の『神木隆之介』と、「ソフトバンク」の『白石麻衣』『吉岡里帆』で、ともに大手携帯キャリアのCMが大きく寄与した結果となった。

◆起用社数

広告への起用社数でみると、『渡辺直美』『有村架純』がそれぞれ15社でトップ。『渡辺直美』は「BOAT RACE振興会」「アフラック」を中心に、『有村架純』は「WOWOW」「リクルートライフスタイル」を中心に起用されている。

同じ起用社数でも『渡辺直美』は、CM出稿量（秒数）でもトップであり、『有村架純』（CM出稿量9位）に比べると、露出の多さが見て取れる。その両者に続くのが、『綾瀬はるか』『高畑充希』『浜辺美波』の13社となっている。

タレント別CM出稿量(秒数)上位10人（2019年上半期 関東地区）

順位	タレント	主な出演CM			出稿秒数（秒）	出稿本数（本）	（参考）昨年年間順位
1	渡辺直美	BORT RACE振興会	アフラック生命保険 ちゃんと応える医療保険EVER	アフラック生命保険	151,260	6,643	8
2	土屋太鳳	ソフトバンク ウルトラ ギガモンスター＋	日本中央競馬会	イーデザイン損害保険 自動車保険	131,370	7,800	11
3	綾瀬はるか	SK-2 RNAパワーラディカルニューエイジユースエッセンス	コカコーラ コカコーラプラス	コカコーラ コカコーラ	107,250	6,121	3
4	菅田将暉	花王 アタックZERO	トヨタ カローラスポーツ	KDDI auWALLET製品	106,755	6,344	10
5	神木隆之介	KDDI auゼロ学割	KDDI カケホ割60	ケイディーディーアイ	105,330	5,369	29
6	白石麻衣	ソフトバンク ウルトラ ギガモンスター＋	ディップ バイトル	ソフトバンク GooglePixel3a	103,755	6,277	38
7	濱田岳	KDDI auゼロ学割	リクルート住まいカンパニー SUUMO製品	ケイディーディーアイ	101,220	6,148	1
8	吉岡里帆	ソフトバンク ワイモバイル ワイモバ学割	都市再生機構	ソフトバンク ワイモバイル 家族割	96,945	5,950	27
9	有村架純	WOWOW 放送案内	リクルートライフスタイル Hot Peper Beauty	KDDI 新auビタットプラン	96,660	5,809	12
10	桐谷健太	KDDI auゼロ学割	KDDI auWALLET製品	武田コンシューマーヘルスケア アリナミンVドリンク	96,600	5,896	2

※　出稿秒数をもとにランキングを作成　（ビデオリサーチ調べ）

衛星画像用いた雲画像予測コンテストを開催
ウェザーニューズ／SIGNATE

ウェザーニューズ（千葉市美浜区）とSIGNATE（東京都千代田区）は、気象データへの理解および衛星データの活用促進を目的に、衛星画像を用いた雲画像予測コンテスト「Weather Challenge：雲画像予測」を19日から開催している。

同コンテストは、衛星雲画像データから、未来の雲画像を予測するというもので、11月20日までオンライン上で実施する。入賞者の発表は12月中旬を予定しており、総額100万円の賞金を授与、表彰式に招待する。

3カ月にわたるコンペの進捗は、ウェザーニューズのバーチャルお天気キャスター「ウェザーロイドAiri」（正式名称：WEATHEROID TypeA Airi）が、オンライン番組『ウェザーニュースLiVE』で随時報告、コンペの進行の様子を伝える。

「ウェザーロイドAiri」は、2012年から同番組に出演中。その〝ポンコツっぷり〟が話題となり、視聴者に「ポン子」の愛称で親しまれている。18年5月にはVTuberとしてYouTube公式チャンネルを開設し、19年2月25日にチャンネル登録者数7万人を達成した。

なお、コンテスト申し込みには、SIGNATEの会員登録が必要。

【コンテスト応募・詳細】signate.jp/competitions/169

映像新聞無料メールマガジン
Vizcom ヴィズコム
映像新聞がお届けするメールマガジン「Vizcom」は、ビジネスに役立つ情報をいち早くご提供していきます。映像新聞および、映像新聞ウェブサイトも同様にご愛顧ください。
配信登録は
www.eizoshimbun.com

DECIMATOR DESIGN
3G-SDI/ HD-SDI/ SD-SDI/ HDMI/ Composit Video
Component Video/ AES/ Audio Meter
SDI ミニ コンバータ シリーズ
DMON マルチビューワー
オーディオメータ監視付き、低価格マルチビューワー
4入力～16入力までラインナップ
入力：SDI ＞ 出力：SDI & HDMI
DMON-16S 価格￥250,000(税抜)
DMON-12S 価格￥220,000(税抜)
DMON-6S 価格￥ 98,000(税抜)
DMON-4S 価格￥ 78,000(税抜)
DMON-QUAD 価格￥ 48,000(税抜)
▶▶双方向◀◀ SDI / HDMI コンバータ
MD-LX 価格￥15,800(税抜)
SDI / HDMI 双方向コンバータ
・入力によって下記の動作モードに自動設定
SDI入力 ＞ SDI/HDMI出力
HDMI入力 ＞ SDI/HDMI出力
SDI入力 ＞ HDMI出力 & HDMI入力 ＞ SDI出力
・ポケットサイズ 60mm x 73.7mm x 23mm
TIDE TAC Import, Distribution & Export
タックシステム株式会社IDE事業部
www.tacsystem.com
E-mail: info@tacsystem.com
〒141-0021 東京都品川区上大崎3-5-1 Tel：03-3442-2955 Fax：03-3442-1526

クリエイターと企業のいい関係を育む
FELLOWS
Creator's Agent
映像・WEB・モバイル・DTP・ゲーム・アニメ・空間
エントリースタッフ約28,000名
スタッフをお探しの企業様お気軽にご相談を！
www.fellow-s.co.jp クリエイティブ業界専門の人材エージェント
国内11拠点にてクリエイティブ業界を幅広くサポート（東京・札幌・仙台・新潟・金沢・名古屋・京都・大阪・広島・福岡・沖縄）
FELLOWS Creator's Agent since 2003
株式会社フェローズ 東京都渋谷区恵比寿西1-7-7 EBSビル5F TEL：03-5728-5580 ※恵比寿駅徒歩1分
夏休み企画！
・5時間で映画制作について学ぼう！
～4分のショートムービー作品づくり～
制作フローを教えちゃいます！
1) 映画制作フロー…一般的な映画制作フローについてお話します。
2)<ワーク>企画を立てよう…アイデアの作り方～脚本への落とし込みについて実践していただきます。
3)<ワーク>4分の短編映画の企画を立ててみよう
4) 制作予算を作ろう
5) 映画制作に必要なものを揃えよう…機材、編集環境、スタッフ、キャスト、ロケ地など必要なものについて解説します。
6) いざ撮影！
7) 編集しよう…映像の編集方法、合成、効果、音の編集などを伝授します。
クリエイティブセミナー各種開催中！
セミナー開催日・内容などの情報、お申し込みは下記URLよりお願いいたします
http://www.fellow-s.co.jp/academy
学生の為の短編映画祭
Fellows Film Festival for Students 2019
第2回 フェローズ
フィルム フェスティバル2019
4min ショートフィルム 作品募集
最優秀賞 50万円
詳細はこちら https://www.fellow-s.co.jp/fff-s
応募締切 2019年9月30日(月) ※優秀作品はテレビでO.A劇場で上映いたします。

映像入札王のご案内

映像新聞社では、株式会社ズノーと業務提携し、同社の展開する入札情報提供サービスと連携した「映像入札王」を提供いたします。

全国の入札情報を毎日メールでお届け！
膨大な数の入札･落札公告から効率的な情報入手!!

入札王
入札情報提供サービス

映像入札王とは？

**中央省庁、独立行政法人、地方自治体等の入札情報を提供するサービスです。
映像制作・関連機器、ホームページ制作、広告制作、情報処理、調査等あらゆる分野の最新の入札情報を毎日ご提供します。**

その特長は

1 業界最大級の網羅性

全国の発注機関（6,600 機関 10,000 サイト以上）を網羅。
専門スタッフの手動収集とプログラム収集の併用で収集漏れを回避。

2 案件見逃しの防止

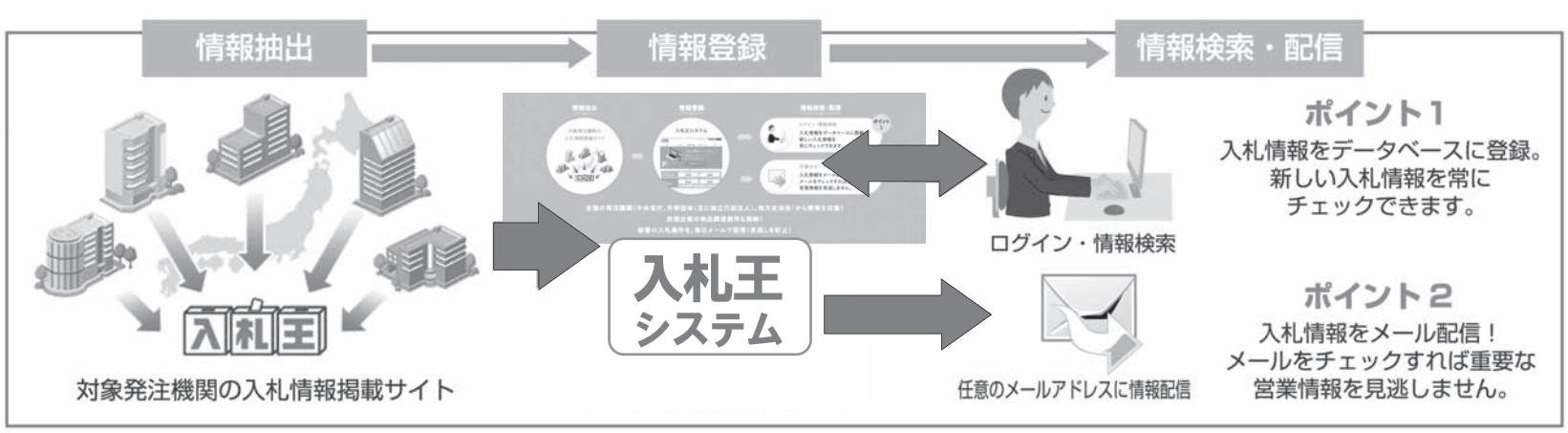
キーワードに左右されないカテゴリー検索、公告の中身まで検索する全文検索、最新案件をお届けするメール配信サービス。

3 充実のサポート体制

検索の設定代行、電話・メールによるアフターフォロー、訪問デモによる操作説明、入札参加資格の申請代行（パートナー紹介）など、入札王には万全のサポート体制が整っています。

4 リーズナブルな選べる料金プラン

入札王の料金プランは地域選択制で、お客様が自由に都道府県を選ぶことができます。「東京」「大阪」「福岡」といった飛び石での指定も OK ですので、無駄な経費が抑えられます。



10 日間 お試し
無料トライアル実施中

トライアル期間で入札王の
効果を実感してください

http://www.eizoshimbun.com

上記 URL からのエントリーで割り引き適用となります

●『映像新聞』購読の方は、下記料金から 5%引きとなります●

料金表

入札王の料金表（税別）は次のとおりです。

発注地域の選択数	契約期間6ヶ月	1ヶ月あたり料金	契約期間12ヶ月	1ヶ月あたり料金
3都道府県	¥55,000	¥9,167	¥95,000	¥7,917
4都道府県	¥71,000	¥11,834	¥125,000	¥10,417
5都道府県	¥88,000	¥14,667	¥155,000	¥12,917
6都道府県	¥105,000	¥17,500	¥185,000	¥15,417
7都道府県	¥121,000	¥20,167	¥215,000	¥17,917
8都道府県	¥138,000	¥23,000	¥245,000	¥20,417
9都道府県	¥155,000	¥25,833	¥275,000	¥22,917
10都道府県	¥163,500	¥27,250	¥290,500	¥24,208
20都道府県	¥243,000	¥40,500	¥434,000	¥36,167
30都道府県	¥272,000	¥45,333	¥473,000	¥39,417
40都道府県	¥291,250	¥48,542	¥502,500	¥41,875
47都道府県	¥300,000	¥50,000	¥520,000	¥43,333

※15 都道府県、27 都道府県等もございますのでお問い合わせください。　（税別）

●お問い合わせはこちらへ。
株式会社ズノー 入札王事務局　〒106-0044 東京都港区東麻布 1 丁目 5-2 ザイマックス東麻布ビル 2F　TEL：(03) 6441-0332 ／ FAX：(03) 6441-0336

「ガーンジー島」をご存の方は少ないかもしれない。イギリス海峡の小島群で、距離的にはフランスに近い英領である。この不思議な島を背景とする作品が『ガーンジー島の読書会の秘密』（2018年／マイク・ニューウェル監督、英国・フランス、124分）だ。1冊の随筆集を媒介とするロマンス、読書会のメンバーの謎の死、ナチス占領、ガーンジー島の美しい海と緑の丘陵、見どころ満載のひねりを効かせた、格調高い文芸作品である。

（中川洋吉・映画評論家）

「ガーンジー島の読書会の秘密」

ドイツ軍に占領された島の戦後が舞台

巧妙な知的興趣をそそる展開



「ガーンジー島の読書会の秘密」（ジュリエット）
©2018 STUDIOCANAL SAS（以下同じ）

◆ガーンジー島

真夜中、5人の男女が酔って大騒ぎをし、丘の上を千鳥足で上ってくる。島の中年の男女である。時代は1940年、ガーンジー島は、なぜかドイツにより占領されている。

ドイツ軍による夜間外出禁止命令下で、案の定、彼ら5人は占領軍の検問を受け絞られる。「一体、何の集まりか」の問いに対し、1人がとっさに「読書会」と答える。ここに読書会がでっち上げられる。もともとは読書とは無関係の集まりで、実態は単なる飲み会。この辺りの発想が楽しい。40年にドイツによって島は占領され、ドイツ軍は自前の食糧を携行せず、現地で調達したと思われる。戦時中の日本軍と同様、補給なしで戦地に送られた兵士たちは現住民の食糧を奪い、多くの人々が亡くなった。武器を使わずとも人間を殺す実例で、ガーンジー島のドイツ軍も、インパール大作戦の日本軍も同じ蛮行を犯している。

◆地理的位置

ガーンジー島は、イギリス海峡のフランス・ノルマンディ近く、チャネル諸島の1つである。この島はフランス語でジェルゼと呼ばれ、多くのフランス人が免税品を求めて訪れることでも有名だ。現在の人口は6万200人、面積は78平方キロメートルと小さな島である。

なぜ、フランスから20キロメートルのこの島が英領になったのであろうか。理由は13世紀までさかのぼらなければならない。当時はイングランド領であったが、フランスとの戦争に負け領地ノルマンディ（現・仏領）を失い、チャネル諸島だけが英領にとどまり、現在に至る。

チャネル諸島の中で2番目に大きいのがガーンジー島で、ここが物語の舞台になる。第二次世界大戦勃発と共にドイツ軍が侵略、1940年から45年まで占領が続いた。ドイツ軍はこの占領地に要塞を建設するため、大量の強制労働者を大陸から送り込む。それは島民の半数近くが本土へ避難したためであった。

◆物語の発端

ドイツ軍敗北の1945年のロンドンから物語は始まる。主人公は、若き美人作家でジャーナリストのジュリエット・アシュトン（リリー・ジェームズ）。彼女は1通の手紙を、占領期間中のガーンジー島にとどまった、養豚業を営むドーシー・アダムズ（ミキール・ハースマン）から受け取る。これが本作の発端となる。



読書会のメンバー

1冊の書籍がもたらす愛の物語

◆本探しの依頼

大戦直後のロンドンでは、町の多くが破壊され、復興途上にあった。その中で、ジュリエットは執筆に余念がなかった。ドーシーは、偶然古本屋で手にした随筆集に記されたジュリエットの住所に手紙を認（したた）めた。彼女は手紙の中の一章、「読書会」に心をひかれる。そこには、1940年の島での同会について詳しく書かれていた。

ドイツ軍の占領、家畜の没収で、島民たちは極度の食糧不足に陥った。読書会のメンバーは、密かに隠した豚肉を食べるために、密造のジン、ポテトピールパイ（食糧不足で、ジャガイモと皮のパイ）を用意し、秘密の宴会を催した。

久しぶりに飲んで食べての帰り道、運悪くドイツ軍の検問に遭ったため、「読書会」の帰りと称し、ここにジン臭い読書会が立ち上げられた。

◆ジュリエットの来島

戦時中のドーシーたち5人の困窮談に興味津々のジュリエットは、早速、ガーンジー島へ渡る。読書会は、本を読み、仲間とについて尋ねるが、メンバーは彼女を警戒し、すべてを話さない。何らかの秘密を彼女は感じ取る。そして、同会の創設者であるリーダー格のメンバーが不在の理由も、彼らの無言と関係があると踏む。



ドーシー㊨とジュリエット

◆エリザベスの存在

メンバーであるはずのエリザベス（ジェシカ・ブラウン・フィンドレイ）の消息に口をつぐむ人々。ここで物語はミステリー調へと転調する。

エリザベスは、3歳の幼女キットの母。幼女は皆の娘のような存在であり、ドーシーと3人で一緒に暮らしている。エリザベスは闘う女性で正義感も強く、ドイツ軍の市内の行進では抗議の声を上げ、目をつけられる。メンバーの面々は、彼女がいつか何かを仕出かすのではと、ハラハラしている。

作家であるジュリエットは、ロンドンの社交界でも花形で、兵役でロンドンに来ている米国人マーク・レイノルズ（グレン・パウエル）に見染められ婚約、彼から豪華な結婚指輪が贈られる。マークは米国の金持ちの子弟の様だ。恋と、新たな小説のネタを抱いてのガーンジー島乗り込みであった。

◆ドーシーの告白

物語はエリザベスの動向の一点に絞られる。読書会のメンバーとも打ち解け、残るはリーダー格のエリザベスの存在である。幼いキットの子守を引き受けたジュリエットは、初めてドーシーから真実を告げられる。

エリザベスは、ある時、強制労働で島に連れてこられた、ケガをした少年を夜道で発見する。少年は雨と泥でひどく汚れている。彼女は持ち前の正義感で、彼を病院へ運ぼうと抱え上げる。折り悪く、自分の娘キットも具合が悪く寝付いている。だが、夜間外出禁止の中、エリザベスはドーシーが止めるのを振り切り、少年を抱えて雨の中病院へと飛び出す。

しかし、その途中、少年は射殺され、連行されたエリザベスは後に銃殺される。これが、メンバーがひた隠しにしてきた彼女の消息である。

この告白後、ドーシーとジュリエットはより親密になり、キットと3人で、島で暮らすことになる。ジュリエットはガーンジー島滞在中、マークから贈られた高価な婚約指輪をつけず、皆と同様、慎ましやかな生活を送り、島民から受け入れられた。彼女はマークとの裕福な未来を捨て、豚飼いのドーシー（彼は相当なインテリの文学愛好家）と一緒になる。

◆書籍が結ぶ絆と愛

本作は、1冊の書籍がもたらす愛の物語である。1冊の随筆集を巡っての物語展開は、知的興趣をそそり、しかもミステリーの隠し味がまぶされ、文芸ものとしても優れている。加えて社会的背景として、第二次世界大戦とドイツの占領、戦時中の困窮した庶民の生活が描かれている。

もう1つ大事なことは、小さな島の美しさで、海、そして緑、古い街並みと、英国独特の風景で彩られ、心が癒やされる。

〈文中敬称略〉

▣『ガーンジー島の読書会の秘密』は、8月30日からTOHOシネマズほか全国ロードショー

発売中
映像新聞 縮刷版
2018年後期版（7月～12月）

半年分の映像新聞を1冊にまとめた「2018年後期縮刷版」が発行となりました。めまぐるしく変化する映像業界の動向を集約する「映像新聞縮刷版」は、目次には、ジャンルごとに項目を掲載し、業界の動向が簡単に索引できるようになっております。企業のビジネス戦略において、貴重な情報ツールとして、また、保存版の映像新聞として広くご利用いただいております。
仕様：A4判／価格：7,000円（税別、送料別途）



ご購入は映像新聞ウェブサイトからお申し込みいただけます　www.eizoshimbun.com
アマゾン（www.amazon.co.jp）、富士山マガジンサービス（www.fujisan.co.jp）からもご購入いただけます

●ご購読のお申込み・お問い合わせはこちらへ
株式会社映像新聞社　〒112-0006　東京都文京区小日向1-24-8エイゾ-ビル／TEL：03-3942-2161／FAX 03-3942-2581　e-mail：info@eizoshimbun.com

NABSHOW®
Where Content Comes to Life

www.nabshow.com



www.nabshowny.com

New York

Javits Convention Center

NAB SHOW NEW YORK
Formerly Content & Communications World (CCW)

10月15日（火）～20日（日）4泊6日

NAB Show NY 視察ツアー参加者募集



NAB Show NYツアー日程表

旅行業公正取引協議会会員　JTB

	日付	地名	現地時間	交通機関	スケジュール	食事
1	2019年 10月15日 （火）	東京（羽田）発	10:40	JL006	空路、ニューヨークへ	機内食：2回
		～～～～～～～～～国際日付変更線 通過～～～～～～～～～				
		ニューヨーク着	10:35	専用車	到着後、専用車にてホテルへ（ガイド付） <ニューヨーク/The New Yorker A Wyndham Hotel 泊>	夕食：×
2	10月16日 （水）	ニューヨーク	終日	徒歩	ホテル朝食 NAB2019ニューヨーク視察（ジェイコブ・K.ジャヴィッツ会議センター） ※お客様ご自身で会場へ移動（通訳が同行します） <ニューヨーク/The New Yorker A Wyndham Hotel 泊>	朝食：○ 昼食：× 夕食：×
3	10月17日 （木）	ニューヨーク	終日	徒歩	ホテル朝食 NAB2019ニューヨーク視察（ジェイコブ・K.ジャヴィッツ会議センター） ※お客様ご自身で会場へ移動（通訳が同行します） <ニューヨーク/The New Yorker A Wyndham Hotel 泊>	朝食：○ 昼食：× 夕食：×
4	10月18日 （金）	ニューヨーク	終日	専用車	ホテル朝食 ニューヨーク 放送関連企業視察（通訳が同行します） <ニューヨーク/The New Yorker A Wyndham Hotel 泊>	朝食：○ 昼食：× 夕食：×
5	10月19日 （土）	ニューヨーク			ホテル朝食	朝食：○
				専用車	専用車にて空港へ（ガイド付）	
			13:10	JL005	空路、東京（羽田）へ	昼食：×
		～～～～～～～～～国際日付変更線 通過～～～～～～～～～			<機中泊>	夕食：×
6	10月20日 （日）	東京（羽田）着	16:25		空港到着後、解散	

- 昨年度より NAB Show NY 視察ツアーを開始
- ツアー価格 ~~398,000円~~ /（2名1室）
  1名1室の場合、~~96,000円~~の追加料金
  （航空会社や現地事情により変動する場合あり）
- 最小遂行人数 10名（参加者多数の場合、展示会場内専用サロンの設置）
- 空港ホテル間、専用車にて送迎（日本語ガイド付）
- 滞在ホテル [The New Yorker A Wyndham Hotel] は、マンハッタン中心部（8番街）、展示会場（ジェビッツコンベンションセンター）まで徒歩 10 分。
- 毎朝食付（ホテル内レストラン）
- 展示会場内ブース見学ツアー（逐次通訳随行）
- 放送業界関連企業ツアー（同時通訳随行）
- 申込締切：8月 13 日（火）（以降は要相談）

NAB Show NY は、首都ワシントン D.C. からも近い世界金融の中心地ニューヨークで 2015 年より開催。
展示会場はハドソン川沿いの絶景地点。
ニュース、メディア配信、今後発展するインターネット放送など、リアルタイム性とセキュリティー関連の最新製品の展示やセミナーを開催。
NAB Show ラスベガスでは展示されない製品も多数。



ツアー資料請求先

株式会社JTB　新宿第二事業部　営業二課
JTB NAB Show NY 2019ツアーサポートデスク
担当　秋山・小川・村岡
〒163-0426 東京都新宿区西新宿2-1-1　新宿三井ビル26階
TEL：03-5909-8102　FAX：03-5909-8110
MAIL：nab@jtb.com

参加・出展 問合せ先

NAB日本代表事務所（映像新聞社）
担当　福田
〒112-0006 東京都文京区小日向1-24-8　エイゾービル
TEL：03-3942-2381　FAX：03-3942-2581
MAIL：nabshow@eizoshimbun.com

第176回「CRIフォーラム」
「ローカル5G」の動向探る
実証実験についても報告

ケーブルテレビ情報センター（CRI）は、第176回「CRIフォーラム」を9月12日に開き、国内で5G（第5世代移動通信システム）の商用化が迫るなか、今秋以降と言われている「ローカル5G」の免許申請の状況も踏まえ、関係者を招きCATVにおける5G利活用について考察する。

総務省では「ローカル5G」の技術的検証を終えており、早ければ秋から年内にかけ「ローカル5G」の免許申請の受け付けを開始する計画だ。そこで住友商事と「地域ワイヤレスジャパン」では、「ローカル5G」事業化に向けての技術課題や事業性を検証するために、今年6月から8月にかけて、都内2カ所と神奈川県横須賀市、長野県安曇野市、松山市の計5カ所において「ローカル5G」の実証実験を実施した。

実験は、CATVの光ファイバー網に5G基地局を設置し、半径数百㍍の範囲に電波を飛ばす「ラストワンマイル」対策としての活用を検証するもので、結果は「高速ネット通信が導入されていない既存の集合住宅などにも低コストで導入できることが実証できた」としている。

今回のCRIフォーラムでは、住友商事 メディア事業本部ケーブルテレビ事業部長の小竹完治氏が、「ローカル5G」の実証実験について報告、総務省 電波部移動通信課の大塚恵理課長補佐が「地域での5G早期実現に向けての取り組み」について説明する。

【日時】9月12日／14時30分―17時
【会場】日本プレスセンタービル10階（日本記者クラブ）ホール（東京都千代田区内幸町2―2―1）
【会費】CRI会員50００円、非会員1万5０００円
【申し込み・問い合わせ】Eメール=cri@cri-info.jp

大阪アジアン映画祭
上映作品の募集を開始
20年3月6―15日開催

「第15回大阪アジアン映画祭（OAFF）」が2020年3月6―15日に開催されることが決定、併せて上映作品の募集を開始した。OAFFの上映作品は、「アジア（日本を含む）の作品であること。または、アジアと深い関係を有する作品であること」が全部門共通の条件となっている。賞金はグランプリが50万円、来るべき才能賞が20万円。応募締め切りは12月2日。

近年、日本映画に関しては、OAFFでの上映をきっかけとして、海外の国際映画祭での上映につながるケースが増えている。また、OAFFで上映後、配給などが決まり、日本劇場公開に至った作品も数多いという。一方、海外からの作品募集に関する問い合わせも年々増え、日本の配給会社からの注目も高まっているとしている。

なお、上映作品については、プログラミング・ディレクターの暉峻創三氏が全作品を決定する。

【応募方法・詳細】www.oaff.jp/2020/ja/outline/entry.html

募集

◇「京都映画企画市」の企画募集

京都府と映像産業振興機構（VIPO）が主催する第11回「京都映画企画市」の企画募集の締め切りが迫っている。

同事業は、時代劇の拠点である京都の優位性を生かし、京都から若手クリエイターを世に送り出すことを目的にした、時代劇・歴史劇ジャンルの映画企画コンテストになっている。

第一線で活躍する映像業界人を審査員に迎え、応募企画の中から書類審査において数作品を選定し、映画企画コンテスト（プレゼンテーション）で優秀映画企画を決定する。優秀映画企画には、長編劇場公開につなげるために350万円相当のパイロット版（短編）映像制作の権利を付与し、長編映像化のバックアップをしていく。

【企画内容】▽映画・映像制作者（監督およびプロデューサー）による作品企画▽劇場公開を目的とする、時代劇・歴史劇ジャンルの映画企画▽太秦のメジャースタジオをはじめとする、京都府内での撮影を想定した映画企画

【応募要件】▽権利処理がなされている、非公開の映画企画が対象▽過去に応募された映画企画の再応募も可能▽想定する制作予算などを提示▽日本語での応募書類作成およびプレゼンテーションが可能な人

【募集締め切り】9月5日必着

【申し込み・詳細】kyotofilmpitching.jp/application

disguise セールスセミナー アークベンチャーズ

シンユニティグループのアークベンチャーズは、同社が販売する「disguise（ディスガイズ）」のセールスセミナーを9月18日に都内で開く。プロデューサーやディレクターを対象に、disguiseの機能や活用方法について、事例を交えて解説する。参加費無料。

disguiseは、ステージデザイン、映像・照明演出などの各段階におけるリアルタイム3Dシミュレーションから本番の出力まで可能なメディアサーバー。シミュレーションしたものをそのまま本番で出力できるため作業を効率化する。また周辺機器との連携により、先進的かつクリエイティブなインタラクティブ演出や、大規模なショーのコントロールが可能になっている。

【日時】9月18日／16―18時
【会場】シンユニティ東京ラボ（東京都千代田区六番町1―9 シンユニティ東京ラボ5階）
【定員】15人
【申し込み・詳細】docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScFqQhnobVq49102ac6u8MxK1H_xPPI7rQmJ0TNMOxF-2ZgaA/closedform

映画祭

◇第41回「ぴあフィルムフェスティバル（PFF）」

メインプログラムの自主映画のコンペティション「PFFアワード2019」は18作品を上映。上映後、来場監督を迎えてのトークイベントも開く。コンペティション部門と同時に、国内外の多彩な映画を招待上映する。

招待作品部門では、カンヌ国際映画祭の批評家週間とのコラボレーション企画「カンヌ映画祭批評家週間って何？」を実施する。

チケットは「チケットぴあ」で販売中。

【主催】国立映画アーカイブ、PFF、川喜多記念映画文化財団、ユニジャパン
【開催期間】9月7―21日（月曜休館）
【会場】国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU／小ホール（東京都中央区京橋3―7―6）
【詳細】pff.jp/41st

「情報」がビジネスを熱くする。

映像新聞は、放送やブロードバンド、デジタルコンテンツプロダクション、映像制作者など映像業界へ向け、ビジネスとテクノロジーの両視点で情報を発信している専門紙です。映像のデジタル化は、デジタル放送やデジタルシネマといった新しい文化を創り、ブロードバンドにより新しいコミュニケーションを発達させました。映像新聞は、これらの動きをいち早く伝え、新鮮な情報をお届けいたします。
ビジネスを熱くするメディア……それが「映像新聞」です。

映像新聞

毎週月曜日、月4回発行（年間48回発行）
基本ページ数
20ページ／タブロイド判
年間購読料：26,000円（送料込み）＋消費税

海外での購読の場合は、消費税分を除いた料金に別途送料がかかります。　詳しくはお問い合わせ下さい。

ウェブサイトからお申し込みができます
www.eizoshimbun.com

短期購読および複数購読のご案内

●短期購読の場合
◎3カ月購読の場合：7,200円（1部600円×12回）＋消費税
◎6カ月購読の場合：14,400円（1部×24回＋消費税）

●複数購読の場合（年間購読契約のみ）
対象となる購読者（以下の3つの条件をすべてを満たすこと）
◎送付先が同一であること
◎請求先が同一であること（送付先とは別でも可）
◎購読契約期間（契約更新月）が同一であること

※料金（申し込み部数により料金を割引きます）
・2–5部は**10%**割引き　（1部、年間23,400円＋消費税）
・6–9部は**20%**割引き　（1部、年間20,800円＋消費税）
・10部以上は**30%**割引き（1部、年間18,200円＋消費税）

●ご購読のお申込み・お問い合わせはこちらへ。
映像新聞社　〒112-0006　東京都文京区小日向1-24-8エイゾービル　TEL 03-3942-2161　FAX 03-3942-2581　e-mail:info@eizoshimbun.com

smallHD.com



私たちにお任せください。

SmallHD日本総代理店

株式会社キャムキャスト7
keep on streaming

CERTIFIED REPAIR CENTER
SmallHD認定
国内リペアセンター